

# ET-VMU 音声ファイル管理アプリケーション 「ET-VMMAP」

Version 1.1.X.X

## ■ 取扱説明書 ■

### 利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

#### 1. 著作権

ET-VMU 音声ファイル管理アプリケーション「ET-VMMAP」〔以下本プログラムという〕の著作権は株式会社日立製作所及び株式会社ナカヨ通信機にある。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

#### 2. 使用範囲

本プログラムの使用はET-VMUの音声ファイル管理に限る。

#### 3. 複製の制限

販売店・工事店がET-VMU利用者に対して本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してもよい。また、ET-VMUを使用するユーザ内において、本プログラムの複製を作成してもよい。

#### 4. 制限事項

本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、貸借、貸与、利益のための販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

#### 5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての販売店・工事店またはET-VMUを使用するユーザはプログラムが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

#### 6. 機密保持

使用にあたっての販売店・工事店またはET-VMUを使用するユーザは、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと（販売店・工事店がET-VMU利用者に対する開示を除く）。更に、第三者に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

#### 7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報は、個人情報の漏洩、改ざん等の危険にさらされない様に取扱権限者の明確化等の組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

#### 8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

#### 9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出（海外提供）される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など、外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

※本説明書内の画面と操作例は一例です。本説明書中の画面はWindows Vista<sup>®</sup> の例で記載しています。  
本アプリケーションのバージョンや設定、パソコン側の環境によって画面は若干異なる場合があります。

<b>1. はじめに</b>	<b>1-1</b>
1-1 「ET-VMU 音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要	1-1
1-2 パソコン側のハードウェア条件	1-3
1-3 接続方法	1-4
1-4 インストールとアンインストール	1-5
1-5 アプリケーションの起動・終了	1-6
1-6 メイン画面について	1-7
1-7 録音情報一覧の項目について	1-9
1-8 設定メニューについて	1-11
<b>2. 基本操作</b>	<b>2-1</b>
2-1 ログイン	2-1
2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード	2-2
[1] ダウンロード先フォルダを設定・削除する	2-2
[2] VMU側のフォルダをダウンロードする	2-5
[3] 起動時のフォルダを指定する	2-6
[4] ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する	2-8
2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード	2-9
[1] ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する	2-9
[2] 全てのボックスを一括ダウンロードする	2-10
[3] ボックスを選択してダウンロードする	2-11
[4] 録音情報をダウンロードした後に音声ファイルをダウンロードする	2-12
[5] 録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について	2-14
2-4 録音情報を表示する	2-15
[1] 録音情報一覧を表示する	2-15
[2] 録音情報一覧を複数表示する	2-16
[3] 条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する	2-18
2-5 音声メッセージを再生する	2-20
2-6 音声メッセージを消去する	2-22
[1] 一覧表から選択して消去する	2-22
[2] WAVファイルを消去する	2-24
<b>3. その他の操作</b>	<b>3-1</b>
3-1 一覧表示する項目を追加・消去する	3-1
3-2 ダウンロードした音声ファイルをWAVファイルに変換する	3-2
3-3 音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する	3-3
3-4 音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする	3-6
3-5 録音情報を編集する	3-8
3-6 ボックス名称に編集する	3-10
3-7 外部メディアに音声ファイルを保存する	3-11
3-8 録音情報の一覧表をCSV形式でエクスポートする	3-12
3-9 主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる	3-14

## 1. はじめに

### 1-1 「ET-VMU 音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要

「ET-VMU 音声ファイル管理アプリケーション」(以下、「本アプリケーション」または「ET-VMMAP」と略します)は、ボイスメモユニット(以下、「VMU」と略します)と連携し、VMU側に録音されている音声ファイルをパソコン側にダウンロードすることができます。また、ダウンロードした音声ファイルをパソコンで再生することもできます。

※ET-VMMAPは下記の製品と共に使用します。ET-VMMAP単独での使用や他のボイスメール関連製品とは連携できません。

・ETボイスメモユニット(iE) <形名:ET-VMU-iE>

#### ■ご利用できる機能

下記の機能をご利用できます。

機 能	概 要
ログイン	・VMUとの通信を行うためにVMUにアクセスするためのIPアドレス、ユーザー名、パスワード等の設定が必要になります。⇒2-1章 参照
録音情報／音声ファイルのダウンロード	・VMU側に録音されている音声メッセージは一括またはボックスを選択してパソコン側にダウンロードすることができます。⇒2-3章 参照 ・録音情報(BOX番号、録音日時、録音時間、相手の電話番号等の情報)と音声ファイル(音声データ)を個別にダウンロードすることもでき、録音情報のみダウンロードしておき、音声ファイルが必要なときに音声ファイルを後からダウンロードすることもできます。
録音情報の表示	・VMUからダウンロードした録音情報をパソコン上で一覧表示することができます。同時に複数(最大4個)の録音情報を表示したり、条件を絞り込んで表示することもできます。⇒2-4章 参照 ・一覧表示する項目を追加したり削除したりできます。⇒3-1章 参照 ・録音情報にタイトルやメモを入力することもできます。⇒3-5章 参照
音声メッセージの再生	・VMUからダウンロードした音声メッセージを一覧表示から指定し、パソコン上で再生することができます。⇒2-5章 参照 ※再生する場合は、Windows Media® Player等のパソコンにインストールされているプレーヤーを使用します。
音声メッセージの消去	・VMUからダウンロードした録音情報や音声ファイルを消去することができます。⇒2-6章 参照 ・パソコン内で変換したWAVファイルを消去することもできます。 ・VMU内の音声メッセージもパソコンから消去することもできます。
WAVファイルへの変換	・VMUからダウンロードした音声ファイルは独自形式となっているため、Windows Media® Player等で再生可能なWAVファイルへ変換します。 ・変換していない音声ファイルは再生時に自動的にWAVファイルに変換して再生しますが、ダウンロード時にWAVファイルに変換したり、ダウンロード済みの音声ファイルを指定してWAVファイルに変換することもできます。⇒2-3章[1]、3-2章 参照
音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダの作成	・VMUから録音情報や音声ファイルをダウンロードするため、パソコン内にVMUのボックスと同じ構成のボックスフォルダが設定されますが、移動・コピー専用のボックスフォルダを独自に作成することができます。⇒3-3章 参照 ※独自に作成したボックスフォルダには録音情報や音声ファイルはダウンロードされません。
音声メッセージの移動・コピー	・VMUからダウンロードした録音情報および音声ファイルを、他のボックスフォルダに移動またはコピーすることができます。⇒3-4章 参照
外部メディアへの保存	・録音情報や音声ファイルが保存されているフォルダ一括単位でCD-RやDVD-R等の外部メディアに保存することができます。⇒3-7章 参照 ※外部メディアに保存したデータを使用する場合は、保存時のフォルダ単位でパソコンに戻すことにより、録音情報の表示や音声メッセージの再生等を行うことができます。
録音情報一覧のCSV形式でのエクスポート	・録音情報一覧をCSV形式でエクスポートし、EXCEL等で利用することができます。⇒3-8章 参照
内線電話帳のインポート	・内線ボックスごとにボックス名(内線名称等)を登録できますが、「短縮設定用プログラム(iE/「J」)」を使って保存した内線電話帳データをインポートすると、ボックス名に内線電話帳に登録されている内線名称がそのまま登録できます。⇒3-9章 参照 ※「短縮設定用プログラム(iE/「J」)」は無償提供のパソコン用アプリケーションです。入手に関しては、販売店・工事店にお問い合わせください。

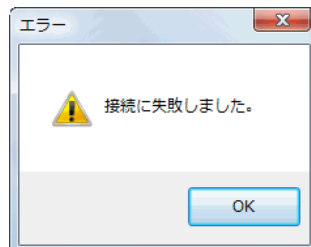
## 1. はじめに

### 1-1 「VMU 音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要

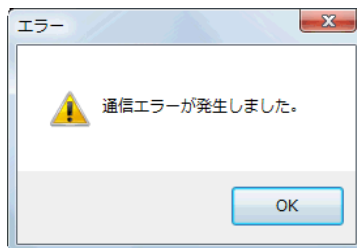
#### ■ 全般的なご注意

- VMUへ同時にアクセスできるパソコンは1台のみです。

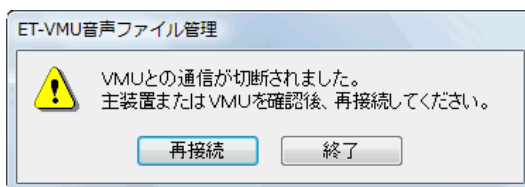
2台目以降のパソコンがアクセス時は、下記のエラー画面が表示されます。VMUからの録音情報／音声ファイルのダウンロードやVMU内の音声メッセージの消去以外は、複数のパソコンで本アプリケーションを使用することができます。



- 本アプリケーションがVMUから録音情報／音声ファイルをダウンロードしたりVMU内の音声メッセージを消去する場合、LAN経由で通信を行っています。ネットワークの負荷によっては、パソコンとVMU間の通信が途切れ、下記のエラー画面が表示される場合があります。  ボタンをクリックしてメイン画面に戻ってください。



また、録音情報／音声ファイルのダウンロードやVMU内の音声メッセージの消去を行っていない場合でも、ログイン中にパソコンとVMU間の通信が途切れた場合は、下記のエラー画面が表示されます。  ボタンをクリックすると再接続することができます。



- 本アプリケーションで作成されたフォルダを別のアプリケーション(エクスプローラ等)で変更しないでください。誤って変更してしまった場合、本アプリケーションで録音情報一覧を表示できなくなる場合があります。
- 本アプリケーションを複数起動することはできません。
- 録音情報／音声ファイルをダウンロードしたり、移動・コピーを行ったとき、パソコンのハードディスク容量等が不足すると「PCのメモリ不足です。」のエラー画面が表示されます。本アプリケーションでダウンロードした不要な音声メッセージやパソコン内の不要なファイル等を削除してください。
- 同時に起動している他のアプリケーションによっては、競合が起こってエラーが発生したり、正常に動作しない場合があります。エラーが発生したり、正常に動作しない場合は、他のアプリケーションを終了して本アプリケーションを再起動してください。

## 1. はじめに

### 1-2 パソコン側のハードウェア条件

インストール作業をしていただく前に、本アプリケーションをインストールするパソコンは、以下のハードウェア条件を満たしていることを確認してください。

- ・必須ハードウェア条件・・・この条件を満たさない場合は、アプリケーションの動作が非常に不安定となり、正常に動作しません。最低限の動作ができる条件です。
- ・推奨ハードウェア条件・・・全ての機能が、ストレス無く快適にご使用いただける条件です。ダウンロードする録音情報／音声ファイルの量が多い場合や一覧表示する録音情報が多い場合は、こちらを目安としてください。

※推奨ハードウェア条件は、本アプリケーションと一般的に使用されるワープロソフト、表計算ソフト、メーラー、インターネットブラウザを併用した場合を想定しています。実際のお客様のWindows環境とは異なる場合があります。

OS [※1]		CPU [※2]	HDD容量 [※2]	メインメモリ
Windows® 7 Professional 32bit 日本語版	必須条件	1GHz	900MB	1GB
Windows® 7 Enterprise 32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	1.5GB
Windows® 7 Ultimate 32bit 日本語版				
Windows® 7 Home Premium 32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	2.5GB
Windows® 7 Professional 64bit 日本語版				
Windows® 7 Enterprise 64bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	2.5GB
Windows® 7 Ultimate 64bit 日本語版				
Windows® 7 Home Premium 64bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	2GB
Windows Vista® Business 32bit 日本語版				
Windows Vista® Enterprise 32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	2GB
Windows Vista® Ultimate 32bit 日本語版				
Windows Vista® Home Premium 32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	1GB
Windows Vista® Home Basic 32bit 日本語版				
Windows Vista® Home Basic 32bit 日本語版	推奨条件	2GHz	1.5GB	1GB
Windows Vista® Home Basic 32bit 日本語版				
Windows XP Professional 32bit 日本語版	必須条件	600MHz	900MB	256MB
Windows XP Home Edition 32bit 日本語版 (Service Pack 2以上)	推奨条件	1.5GHz	1.5GB	512MB

[※1]Windows® XP、Windows Vista® は、64bit 日本語版は非対応となります。

[※2]HDD容量はダウンロードする音声ファイル等の件数や録音時間によって異なります。

- Windows® XPはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略です。
- Windows Vista®はMicrosoft® Windows Vista® operating systemの略です。
- Windows® 7はMicrosoft® Windows® 7 operating systemの略です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 1. はじめに

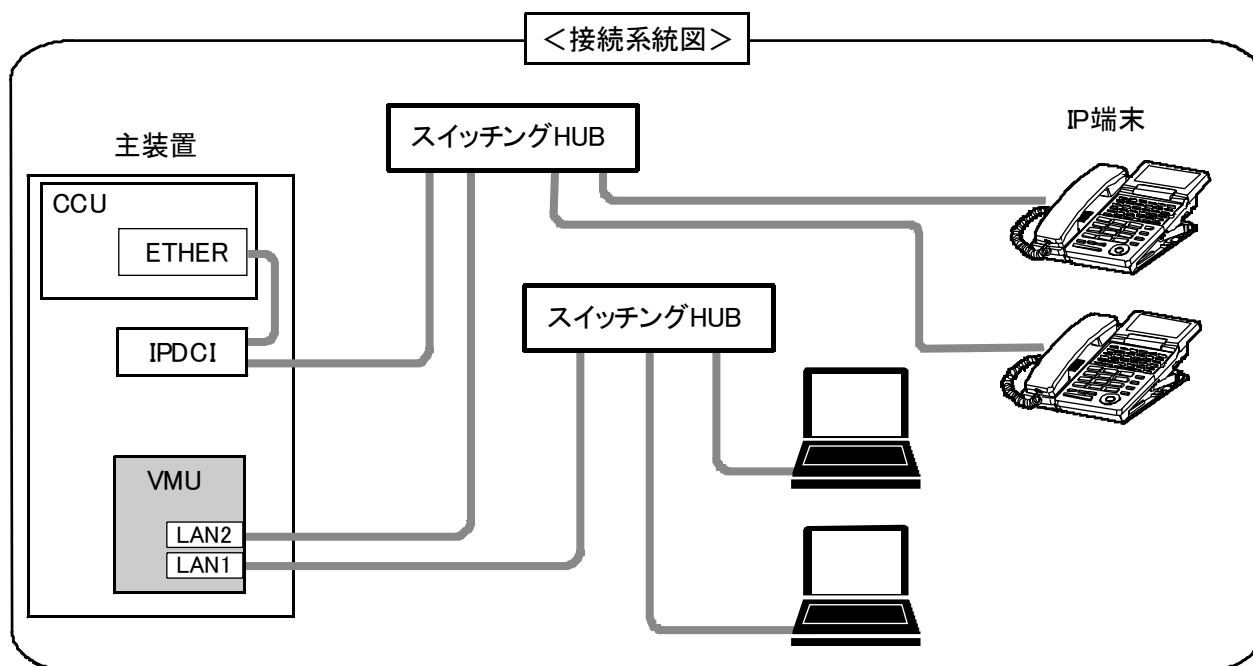
### 1-3 接続方法

下図のように主装置内のVMUとパソコンをLAN環境に接続します。  
(接続工事や設定は、販売店・工事店にご依頼ください。)

- VMU側のLANコネクタは「LAN1」を使用し、IPSD等のIP端末やCCUを接続するネットワークとは独立させます。  
同一のネットワークにすると、音声ファイルをダウンロードするときにネットワークの負荷がかかり、IP端末の通話に影響が出る場合があります。
- 本アプリケーションを使用するパソコンで主装置側のWeb設定(電話帳編集等)を行う場合は、VMU側の「LAN2」コネクタをCCU等を接続しているネットワークに接続します。
- VMUのIPアドレスの初期値は、「192. 168. 1. 4」になっています。使用するパソコンのIPアドレスをVMUのIPアドレスと同じセグメントに設定してください。

例:主装置が「192. 168. 1. 4」の場合は「192. 168. 1. \* \* \*」を設定します(3オクテットまで同一にする)。

※VMUを既存のLAN環境に接続する場合は、データ設定により環境に合わせてIPアドレスを変更する必要があります。  
設定変更は販売店・工事店にご依頼ください。



※本図は一例です。

## 1. はじめに

### 1-4 インストールとアンインストール

#### ■新規インストール

初めて本アプリケーションをインストールする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP\*\*\*\*.exe」を実行する  
(\*\*\*\*はプログラムのバージョンを示しています。)

②以降、画面の指示に従ってください。

#### ●標準インストール先

「C:\Program Files\ET-VMMAP」フォルダ

※本アプリケーションをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

#### ■バージョンアップインストール

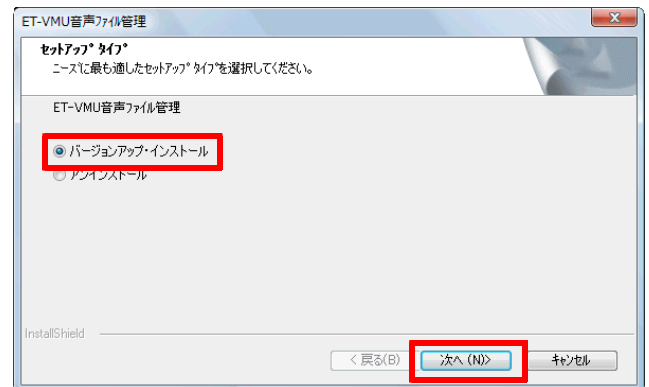
以前、本アプリケーションを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP\*\*\*\*.exe」を実行する  
(\*\*\*\*はプログラムのバージョンを示しています。)

②しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、  
「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックする

③以降、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



#### ■アンインストール

本アプリケーションをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

①[マイコンピュータ] ⇒ [コントロールパネル] ⇒ [プログラムの追加と削除] を選択する (Windows® XP の場合)  
[コンピュータ] ⇒ [プログラムのアンインストールと変更] を選択する (Windows Vista® / Windows® 7 の場合)

②「ET-VMU音声ファイル管理」を選択し、**変更** または **削除** をクリックする (Windows® XP の場合)

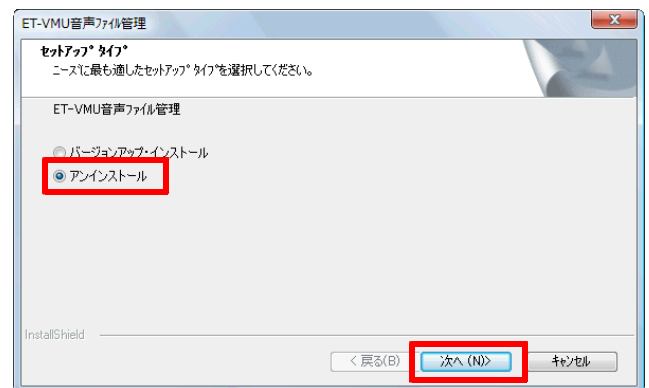
「ET-VMU音声ファイル管理」を選択し、**変更** または **アンインストール** をクリックする

(Windows Vista® / Windows® 7 の場合)

※上記①～②の操作の代わりに、インストール時のファイル「VMMAP\*\*\*\*.exe」を実行することもできます。

③しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、  
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックする

④以降、画面の指示に従ってください。



#### ご注意

- パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。
- Windows Vista® / Windows® 7 をご使用で本アプリケーションのインストールやアンインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して **許可** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7 の場合) をクリックしてください。



## 1. はじめに

### 1-5 アプリケーションの起動・終了

#### ■アプリケーションの起動

下記の何れかの方法で起動してください。

- [スタート] ⇒ [すべてのプログラム] ⇒ [ET-VMU音声ファイル管理] の順にクリックする
- デスクトップにある下記のアイコン(「ET-VMU音声ファイル管理」のショートカットアイコン)をダブルクリックする



(Windows® XP の場合)



(Windows Vista® / Windows® 7 の場合)

本アプリケーションが起動すると、「ET-VMU音声ファイル管理」のメイン画面(基本画面)が表示されます。

※1: 右図は設定を何もしていないときの画面(はじめて起動したときの画面)です。

※2: 設定後は、「設定メニュー」の設定内容により、開くフォルダ等が異なります。

⇒2-2章[3] 参照

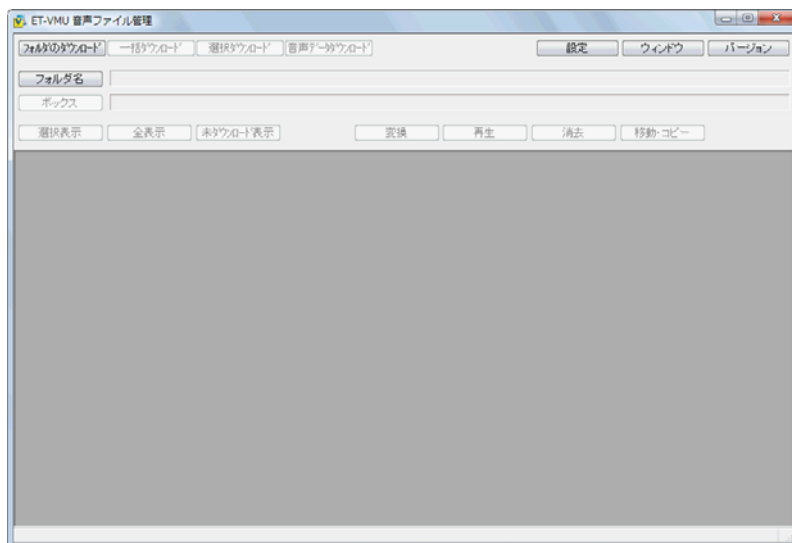
#### ◆起動時に前回のフォルダを開く(初期値)

前回起動時、最後に指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類も最後に指定した状態となります。

#### ◆起動時に指定のフォルダを開く

指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類は最後に指定した状態となります。

ただし、設定を「起動時に指定のフォルダを開く」に変更したときや指定フォルダ名を変更したときは、次回起動時のメイン画面は、ボックスおよび一覧表が空欄となります。



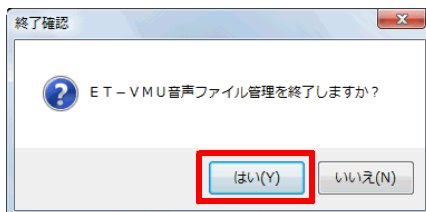
#### ■アプリケーションの終了

下記の手順で終了します。

#### ①タイトルバー右の ボタンをクリックする

※上記操作の代わりに、タイトルバー左のアイコンをクリックし、「閉じる」を選択することもできます。

#### ②「終了確認」画面が表示されるので、 をクリックする



※「設定メニュー」で「再生後にWAVファイルを自動消去する」が設定されている場合は、終了する前に「消去中」画面が表示されます。

#### 補足説明

- 設定メニューについては、1-8章を参照してください。

#### ご注意

- Windows Vista® / Windows® 7 をご使用の場合、起動時にユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して  (Windows Vista® の場合) /  (Windows® 7 の場合) をクリックしてください。

## 1. はじめに

### 1-6 メイン画面について

本アプリケーションを開いたときに表示される画面で、各種操作ボタンと録音情報一覧が表示されます。

※はじめて起動したときの画面は、フォルダ名・ボックス・録音情報一覧は表示されません。

The screenshot shows the main interface of the ET-VMU Voice File Management application. The title bar reads "ET-VMU 音声ファイル管理 - [内線BOX : 101,102,103,104]".

Callouts point to the following elements:

- ①: Folder name input field (フォルダ名)
- ②: Box input field (ボックス)
- ③: Selection buttons (選択表示, 全表示, 未ダウンロード表示)
- ④: Action buttons (変換, 再生, 消去, 移動・コピー)
- ⑤: Settings button (設定)
- ⑥: Window button (ウィンドウ)
- ⑦: Version button (バージョン)
- ⑧: Item count status bar (件数: フォルダ 30 ...)
- ⑨: Playback controls (再生/未再生, 保護/非保護)

The main table displays a list of voice files with the following columns: フラグ, 取込, 再生/未再生, 保護/非保護, BOX番号, BOX名称, 相手番号, 相手名称, 日時, 録音時間, タイトル, メモ, ファイル名.

フラグ	取込	再生/未再生	保護/非保護	BOX番号	BOX名称	相手番号	相手名称	日時	録音時間	タイトル	メモ	ファイル名
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000033	ヤマトモ本店	2009/10/02 16:20	03:00:01			VMU#naisen#103...
<input checked="" type="checkbox"/>		未再生	非保護	101	大沢昭	0100000432	大森通信機	2009/10/02 12:01	01:41:36			VMU#naisen#101...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000033	ヤマトモ本店	2009/10/02 11:56	03:00:01			VMU#naisen#103...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101	大沢昭	0100000432	大森通信機	2009/10/02 09:30	00:29:31			VMU#naisen#101...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000099	イイジマシステム機	2009/10/01 19:29	03:00:01			VMU#naisen#103...
<input checked="" type="checkbox"/>		未再生	非保護	101	大沢昭	0100000790	神島製造機	2009/10/01 16:11	00:25:51			VMU#naisen#101...
<input checked="" type="checkbox"/>		再生済	保護	101	大沢昭	0100000790	神島製造機	2009/10/01 14:43	01:22:55			VMU#naisen#101...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	102	川原幸夫	010000076	吉田設計	2009/10/01 14:43	00:41:19			VMU#naisen#102...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000099	非通知	2009/10/01 13:27	00:05:17			VMU#naisen#103...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000099	イイジマシステム機	2009/10/01 12:43	00:28:44			VMU#naisen#103...
<input checked="" type="checkbox"/>		再生済	保護	101	大沢昭	0100000790	神島製造機	2009/10/01 12:41	03:00:01			VMU#naisen#101...
<input type="checkbox"/>		再生済	非保護	102	川原幸夫	010000079	塚本電子機	2009/10/01 12:14	00:11:42			VMU#naisen#102...
<input type="checkbox"/>		再生済	非保護	102	川原幸夫	010000076	非通知	2009/10/01 11:56	00:05:40			VMU#naisen#102...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	0100000234	佐藤商事	2009/10/01 11:50	00:29:41			VMU#naisen#103...
<input type="checkbox"/>		再生済	保護	102	川原幸夫	010000076	吉田設計	2009/10/01 11:18	00:19:41			VMU#naisen#102...
<input type="checkbox"/>		再生済	非保護	102	川原幸夫	010000079	塚本電子機	2009/10/01 10:54	00:20:21			VMU#naisen#102...

Bottom status bar: 件数: フォルダ 30 ... 一覧表 16 ... 未再生 5 ... 再生済 5

# 1. はじめに

## 1-6 メイン画面について

### ■各部の説明

番号	名 前	機 能 や 動 作 の 概 要
①	各種ダウンロードボタン	VMUからダウンロードするファイルの種類を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>フォルダのダウンロード</b> : 録音情報や音声ファイルをダウンロードするため、パソコン内にVMUのボックスと同じ構成のボックスフォルダを作成します。はじめて本アプリケーションを使用するときは、必ず行います。 ⇒2-2章[2] 参照</li> <li>・ <b>一括ダウンロード</b> : 全てのボックスの録音情報や音声ファイルをダウンロードします。⇒2-3章[2] 参照</li> <li>・ <b>選択ダウンロード</b> : 選択したボックスの録音情報や音声ファイルをダウンロードします。⇒2-3章[3] 参照</li> </ul>
②	フォルダ、ボックスボタン	一覧表示するフォルダやボックス、ダウンロード先のフォルダを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>フォルダ名</b> : フォルダを選択します。右枠には現在開いているフォルダ名を表示します。 ⇒2-2章[4] 参照</li> <li>・ <b>ボックス</b> : 一覧表示するボックスを選択します(複数の留守録BOX、内線BOXの選択が可能)。右枠には現在開いているBOX番号を表示します。表示が枠の幅を超える場合は、枠の右に表示された上下のスクロールボタンをクリックすることで、表示を上下にスクロールできます。 また、留守録BOXと内線BOXが混在しているときは、行を分けて表示しますので、同様に枠の右に表示された上下のスクロールボタンをクリックすると、留守録BOX/内線BOXのBOX番号を確認することができます。 ⇒2-4章 参照</li> </ul>
③	表示ボタン	録音情報の一覧表示方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>選択表示</b> : 条件を絞り込んで録音情報を表示します。⇒2-4章[3] 参照</li> <li>・ <b>全表示</b> : 全ての録音情報を表示します。⇒2-4章[1] 参照</li> <li>・ <b>未ダウンロード表示</b> : 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報を一覧表示します。⇒2-4章[1] 参照</li> </ul>
④	音声メッセージ処理ボタン	音声メッセージの処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>変換</b> : 選択した音声メッセージをWAVファイルに変換します。⇒3-2章 参照</li> <li>・ <b>再生</b> : 選択した音声メッセージを再生します。⇒2-5章 参照</li> <li>・ <b>消去</b> : 選択した音声メッセージを消去します。⇒2-6章[1] 参照</li> <li>・ <b>移動・コピー</b> : 選択した音声メッセージを移動またはコピーします。⇒3-4章 参照</li> </ul>
⑤	<b>設定</b> ボタン	ログインおよびログアウトの操作、および起動時のフォルダ指定・ダウンロード時のWAVファイル変換・再生後のWAVファイル自動消去・録音情報一覧の表示項目の追加と消去・録音情報の編集、等の各種設定を行います。⇒1-8章 参照
⑥	<b>ウィンドウ</b> ボタン	一覧表複数表示時の表示パターンを切り替えます。また、開いている一覧表をリスト表示します。 ⇒2-4章[2] 参照
⑦	<b>バージョン</b> ボタン	アプリケーションのバージョンを表示します。
⑧	音声メッセージ件数表示	音声メッセージの件数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォルダトータル: <b>フォルダ名</b> ボタンの右枠に表示しているフォルダ内の音声メッセージ合計件数を表示します。</li> <li>・ボックストータル: <b>ボックス</b> ボックスの右枠に表示しているBOX番号の音声メッセージ合計件数を表示します。</li> <li>・一覧表トータル: 表示している一覧表の音声メッセージの合計件数を表示します。</li> <li>・未再生: 表示している一覧表の音声メッセージのうち、VMU側で未再生の音声メッセージ合計件数を表示します。</li> <li>・再生済: 表示している一覧表の音声メッセージのうち、VMU側で再生済の音声メッセージ合計件数を表示します。</li> </ul>
⑨	情報表示一覧	録音情報の表示欄です。⇒1-7章 参照

## 1. はじめに

### 1-7 録音情報一覧の項目について

メイン画面に表示される録音情報一覧には、VMUからダウンロードした録音情報や、本アプリケーションで登録できる「タイトル」や「メモ」が表示されます。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
フラグ	取込	再生/未再生	保護/非保護	BOX番号	BOX名称	相手番号	相手名称	日時	録音時間	タイトル	メモ	ファイル名
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	09-XXXX-XXXX33	ヤマトモ本店	2009/10/02 16:20	03:00:01			VMU#naisen#103...
<input checked="" type="checkbox"/>		未再生	非保護	101	大沢昭	09-XXXX-XXXX432	大森通信機	2009/10/02 12:01	01:41:36			VMU#naisen#101...
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	103	後藤真紀子	09-XXXX-XXXX33	ヤマトモ本店	2009/10/02 11:56	03:00:01			VMU#naisen#103...

#### ■表示項目の説明

番号	項 目	機 能 や 動 作 の 概 要										
①	フラグ (*1)	フラグの有無に連動しチェックマーク(✓)を表示します(なし…チェックなし、あり…チェックあり)。 □部分をクリックするとチェックマークの有無が切り替わります。 チェックマークをいれることにより、フラグの有無によって検索条件を絞り込んで選択表示を行ったり、並び替えを行ったりすることができます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。										
②	取込	アイコンにより、ダウンロード状況を表示します。アイコン上にマウスを移動すると、アイコンの説明が表示されます。 <table><tr><th>アイコン</th><th>説 明</th></tr><tr><td></td><td>録音情報 + 音声ファイル (VMU側で再生済)を取込 (ダウンロード) 済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報 + 音声ファイル (VMU側で未再生)を取込 (ダウンロード) 済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報のみを取込 (ダウンロード) 済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報 + 音声ファイルを取込 (ダウンロード) 後にVMU側のデータを消去済 (本アプリケーションの操作でVMU側の音声メッセージを消去した場合)</td></tr></table>	アイコン	説 明		録音情報 + 音声ファイル (VMU側で再生済)を取込 (ダウンロード) 済		録音情報 + 音声ファイル (VMU側で未再生)を取込 (ダウンロード) 済		録音情報のみを取込 (ダウンロード) 済		録音情報 + 音声ファイルを取込 (ダウンロード) 後にVMU側のデータを消去済 (本アプリケーションの操作でVMU側の音声メッセージを消去した場合)
アイコン	説 明											
	録音情報 + 音声ファイル (VMU側で再生済)を取込 (ダウンロード) 済											
	録音情報 + 音声ファイル (VMU側で未再生)を取込 (ダウンロード) 済											
	録音情報のみを取込 (ダウンロード) 済											
	録音情報 + 音声ファイルを取込 (ダウンロード) 後にVMU側のデータを消去済 (本アプリケーションの操作でVMU側の音声メッセージを消去した場合)											
③	再生/未再生	パソコンでの音声メッセージの再生/未再生を表示します。										
④	保護/非保護 (*1)	・保護: 音声ファイルが保護されています。消去操作を行っても消去はされません。 ・非保護: 音声ファイルが保護されていません。消去操作で消去されます。										
⑤	BOX番号	音声ファイルがメモリされているボックス番号を表示します。 (内線BOX: 数字1～4桁、留守録BOX: R01～R15)										
⑥	BOX名称 (*2)	⑤のBOX番号に対応したボックス名称を表示します。情報が無い場合は空欄となります。 名称は内線名称のCSVファイルをインポートすることができます。										
⑦	相手番号 (*1)	メッセージを録音した相手の電話番号を表示します。情報が無い場合は空欄となります。										
⑧	相手名称 (*1)	メッセージを録音した相手の名称(全角16文字/半角32文字以内)を表示します。 非通知の着信は非通知理由(「非通知」・「公衆電話」・「表示圏外」・「相手がわかりません」・「相手不明です」・「相手不明」)を表示します。情報が無い場合は空欄となります。										
⑨	日時	メッセージが録音された年月日および時刻(年は西暦、時刻は24時間制)を表示します。										
⑩	録音時間	音声メッセージの録音時間(時:分:秒)を表示します。										
⑪	タイトル (*1)	録音情報の編集機能で入力したタイトル(全角20文字/半角40文字以内)を表示します。										
⑫	メモ (*1)	録音情報の編集機能で入力したメモ(全角40文字/半角80文字以内)を表示します。										
⑬	ファイル名	音声メッセージの保存先フォルダとファイル名を表示します。フォルダ名は本アプリケーションで作成したフォルダ名以降を表示します。 ・録音情報ファイルと音声ファイルの両方がある場合: 音声ファイル名 (XXX.vmdat)を表示します。 ・録音情報のみの場合: 録音情報ファイル名 (XXX.vminf)を表示します。										

\*1: 「録音情報の編集」画面で入力・編集を行うことができます。⇒3-5章 参照

\*2: 「BOX名称編集」画面で入力・編集を行うことができます。⇒3-6章 参照

## 1. はじめに








### 1-7 録音情報一覧の項目について


#### 補足説明

- 一覧表示する項目は、追加や消去ができます。⇒3-1章 参照
- 録音情報一覧の録音情報を選択するときは下記の方法が可能です。
  - ①該当する録音情報の表示行を左クリックします。ただし、「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので、他の欄の位置でクリックするようにしてください。  
キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると範囲選択ができ、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックすると複数選択ができます。  
※ダブルクリックした場合は、「録音情報編集」画面が表示されますので、**キャンセル** ボタンをクリックしてメイン画面に戻ってください。
  - ②該当する録音情報の表示行を右クリックします。「フラグ」欄は切り替わらずに選択することもできますので誤操作が防止できます。
  - ③キーボードの上下キー(↑/↓)を押します。また、[Shift]キーを押しながらキーボードの上下キー(↑/↓)を押すと、連続して複数選択できます。

#### ●各項目の表示欄について…

- (1) 録音情報一覧を開いたときの表示順序は、BOX番号順となります。また、同一BOX番号内では日時降順(新しい録音日時から)となります。
- (2) 各項目欄をクリックすると、選択している項目での降順/昇順の並び替えを行うことができます。▲は昇順、▼は降順を示します。  
他のフォルダの一覧表示に変更したときや、本アプリケーションを再起動したときは、初期状態に戻ります。  
※文字表示以外の項目は、昇順にした場合は下記の順序で表示されます。降順は昇順の逆となります。

項目	昇順の表示順序
フラグ	フラグなし → フラグあり
取込	 +  →  +  →  →  + 
再生/未再生	再生済 → 未再生

- (3) 表示部の各項目の幅を増減することができます。項目名の境界部分にマウスを移動し、が表示されたらマウスを動かして幅を調整してください。また、境界部分をダブルクリックすると、左側の項目の幅が表示する情報の長さに合わせて最適化されます。  
本アプリケーションを再起動すると、表示幅は初期状態に戻ります。



相手名称	日時 ▼
ヤマトモ本店	2009/10/02 16:20
大森通信機	2009/10/02 12:01
ヤマトモ本店	2009/10/02 11:56

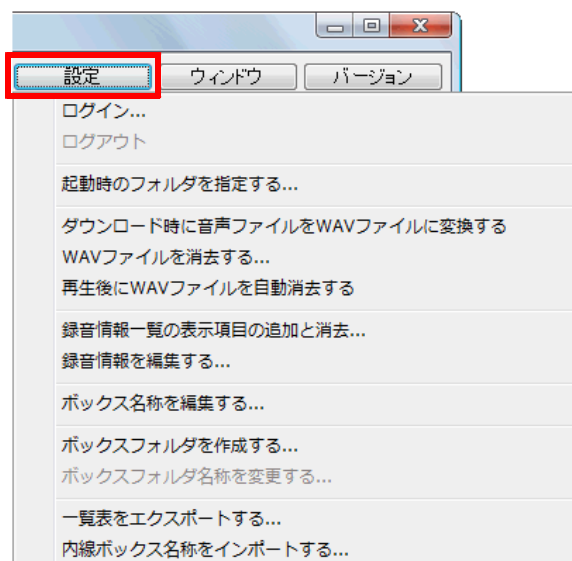
## 1. はじめに

### 1-8 設定メニューについて

ログインおよびログアウトの操作、および起動時のフォルダ指定・ダウンロード時のWAVファイル変換・再生後のWAVファイル自動消去・録音情報一覧の表示項目の追加と消去・録音情報の編集、等の各種設定を行います。

下記の手順で設定します。

- ①メイン画面の **設定** ボタンをクリックする
- ②「設定メニュー」が表示されるので、設定したい項目をクリックする



#### ■各メニュー項目の説明

番号	項 目	機 能 や 動 作 の 概 要
①	ログイン...	VMUにログインするときにクリックします。 クリックすると「ログイン」画面が表示されます。⇒2-1章 参照
②	ログアウト	VMUからログアウトするときにクリックします。⇒2-1章 参照
③	起動時のフォルダを指定する...	起動時に前回のフォルダを開くか、指定のフォルダを開くかを設定するときにクリックします。 「起動時のフォルダ指定」画面が表示されます。⇒2-2章[3] 参照
④	ダウンロード時に音声ファイルをWAV変換する	音声ファイルをダウンロードするとき、WAVファイルへの変換も行うかを設定します。 設定があると、チェックマーク(✓)が表示されます。⇒2-3章[1] 参照 ※「設定メニュー」を開いたときに設定状況が確認できます。
⑤	WAVファイルを消去する...	本アプリケーションで作成したWAVを消去するときにクリックします。 「WAVファイル消去」画面が表示されます。⇒2-6章[2] 参照
⑥	再生後にWAVファイルを自動消去する	本アプリケーション終了時に、WAVファイルを自動消去するときにクリックします。 設定があると、チェックマーク(✓)が表示されます。 ※「設定メニュー」を開いたときに設定状況が確認できます。 ※再生したWAVファイルのみ消去されます。ダウンロードした録音情報・音声ファイルやVMU側の音声メッセージは消去されません。
⑦	録音情報一覧の表示項目の追加と消去...	録音情報一覧に表示する項目の追加や消去を行うときにクリックします。 「録音情報表示設定」画面が表示されます。⇒3-1章 参照
⑧	録音情報を編集する...	選択中の録音情報を編集するときにクリックします。 「録音情報編集」画面が表示されます。⇒3-5章 参照
⑨	ボックス名称を編集する...	留守録BOXや内線BOXの名称(録音情報一覧の「BOX名称」欄に表示する名称)を編集するときにクリックします。 「BOX名称編集」画面が表示されます。⇒3-6章 参照
⑩	ボックスフォルダを作成する...	音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成するときにクリックします。 「ボックスフォルダ作成」画面が表示されます。⇒3-3章 参照
⑪	ボックスフォルダ名称を変更する...	音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダの名称を変更するときにクリックします。 「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されます。⇒3-3章 参照
⑫	一覧表をエクスポートする...	録音情報の一覧表をCSV形式でエクスポートするときにクリックします。 「エクスポート設定」画面が表示されます。⇒3-8章 参照
⑬	内線ボックス名称をインポートする...	「短縮設定用プログラム(iE/「」)」を使って保存した内線電話帳データを内線ボックス名称登録用にインポートするときにクリックします。 「インポート設定」画面が表示されます。⇒3-9章 参照



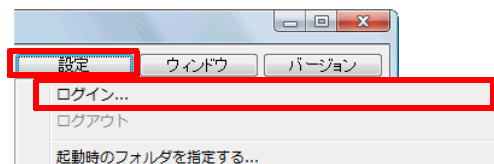
## 2. 基本操作

### 2-1 ログイン

VMUから録音情報／音声ファイルをダウンロードするときや、本アプリケーションでVMU内の音声メッセージを消去するときには、VMUにログインする必要があります。

#### ■ログインする （ダウンロード時は必須）

#### 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ログイン...」をクリックする



#### 2 「ログイン」画面となるので、「VMUのIPアドレス」・「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、**ログイン** ボタンをクリックする

※はじめてログインする場合は空欄となっていますので、すべての項目を入力してください。

- VMUのIPアドレス：データ設定用電話機のメニューにて、「**0**その他」→「**4**システム管理」→「**1**システム情報」→「**03**VMU情報」または「**03**VMU/4RECU-EX情報」の順に操作すると確認できます。

「IP: 192.168.001.004」（例）のように表示されます。

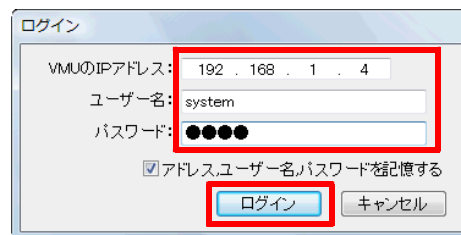
この場合は、「192.168.1.4」と入力します（「192.168.001.004」と入力しても可）。

- ユーザー名：「system」と入力します。

- パスワード：データ設定用電話機のメニューにて、「**0**その他」→「**5**ユーザーパスワード登録」にて登録したパスワードです（初期値:0000）。

IPアドレスやパスワードがわからない場合は、販売店・工事店にお問い合わせください。

※「アドレス、ユーザー名、パスワードを記憶する」にチェックを入れておくと、次回にログインするときに各項目の入力が不要になります。記憶させたくない場合は、チェックを外してください。



#### ■ログアウトする

#### 1 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ログアウト」をクリックする

##### 補足説明

- ログインの状態です約10分間VMUとの通信（VMUからのダウンロード等）がない場合や、本アプリケーションを終了すると自動的にログアウトします。
- フォルダのダウンロードが実行されている場合は、**一括ダウンロード** や **選択ダウンロード** ボタンの表示でログイン中かどうかわかります。
  - ・ログイン中：通常の表示（操作可能）
  - ・ログアウト中：グレースアウト表示（操作不可）
- 未入力や間違いがある場合は、エラー画面が表示されます。 **OK** をクリックし、やり直してください。

エラー画面の表示	原因と対応方法
IPアドレスを入力してください。 ユーザー名を入力してください。 パスワードを入力してください。	IPアドレスが未入力 → IPアドレスを入力してください。 ユーザー名が未入力 → ユーザー名を入力してください。 パスワードが未入力 → パスワードを入力してください。
入力値エラーです。	ユーザー名の入力ミス → 「system」と入力してください。
ログインに失敗しました。	パスワードの入力ミス → パスワードを確認してやり直してください。
接続に失敗しました。	① IPアドレスの入力ミス → IPアドレスを確認し、正しいIPアドレスを入力してください。 ② VMUとパソコン間の通信エラーが発生 → LANケーブル等の接続に問題がないか確認してください。 ③ 既にログイン中のパソコンがある → しばらく待ってからやり直してください。

## 2. 基本操作

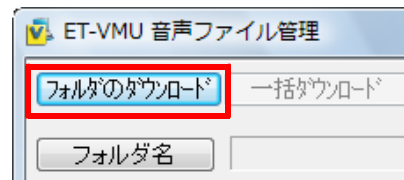
### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### [1]ダウンロード先フォルダを設定・削除する

##### ■ダウンロード先フォルダを作成する **必須**

VMUから録音情報／音声ファイルをダウンロードするとき、ダウンロード先のフォルダを作成します。本アプリケーションを初めて使うときは、必ず行ってください。フォルダを作成したあと、そのままフォルダのダウンロードをする場合(2-2章[2] 参照)は、2-1章を参照しVMUにログインしておいてください。

#### 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の「フォルダのダウンロード」ボタンをクリックする



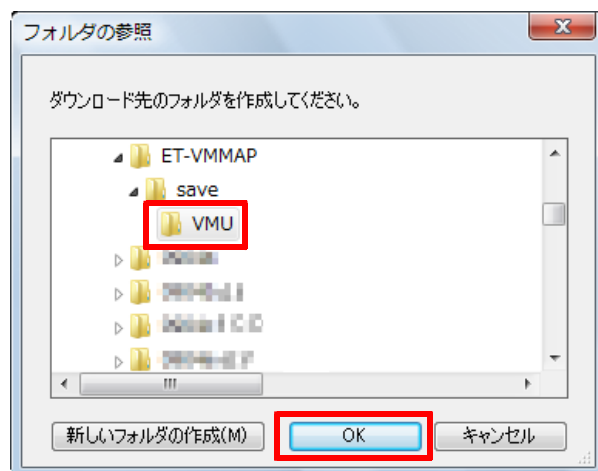
#### 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、「フォルダ追加」ボタンをクリックする

- ※既に作成されたフォルダがあると、フォルダ名およびパス名が表示されます。
- ※フォルダのダウンロード(⇒2-2章[2] 参照)を実施したフォルダは、パス名の先頭に「\*」が表示されます。
- ※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 「フォルダの参照」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックする

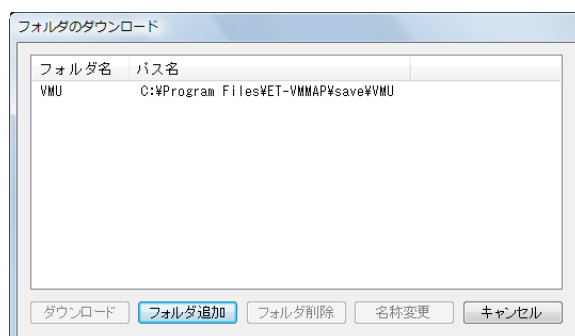
- ※初回は、インストール時に作成された「VMU」フォルダが指定されます。2回目以降は、前回指定したフォルダが指定されます(名称変更/削除時を除く)。
- ※別のダウンロード先のフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。
- ①フォルダ作成先のフォルダの場所を選択する  
(フォルダ作成先のフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。下記②～③の操作で作成先のフォルダも作成します。)
- ②「新しいフォルダの作成(M)」ボタンをクリックする
- ③「新しいフォルダ」が作成されるので、右クリックし「名前の変更」を選択して名前変更する。
- ④フォルダを指定し、「OK」ボタンをクリックする



※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

#### 4 「フォルダのダウンロード」画面に指定したフォルダが追加される

- ※そのまま終了する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。
- ※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選択し、「ダウンロード」ボタンをクリックします。⇒2-2章[2] 参照  
ただし、操作をする前にVMUにログインしておく必要があります。





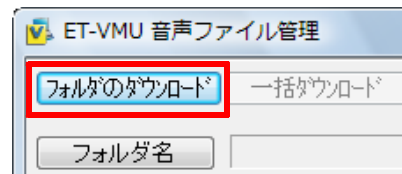
## 2. 基本操作

### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### ■ダウンロード先フォルダのフォルダ名を変更する

一度設定したダウンロード先フォルダのフォルダ名を変更することができます。必要なときに行ってください。

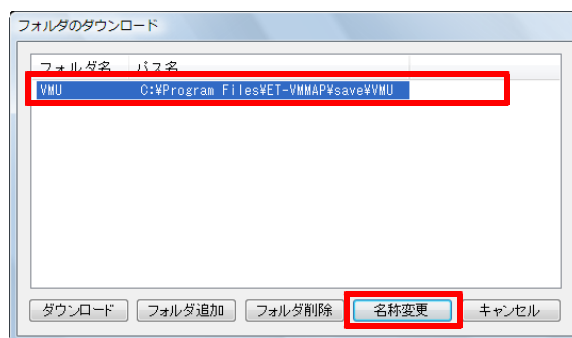
- 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の「**フォルダのダウンロード**」ボタンをクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、フォルダ名を変更するフォルダを選択し、「**名称変更**」ボタンをクリックする

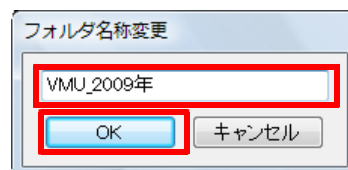
※フォルダのダウンロード(⇒2-2章[2] 参照)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「\*」を表示)も名称変更することができます。

※中止する場合は「**キャンセル**」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「フォルダ名称変更」画面となるので、フォルダ名称を変更して「**OK**」ボタンをクリックする

※中止する場合は「**キャンセル**」ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

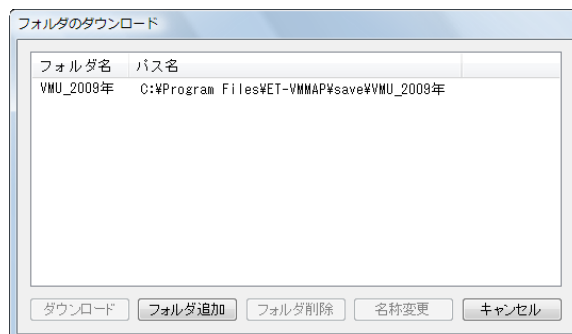


- 4 「フォルダのダウンロード」画面のフォルダ名とパスが変更した内容に変更される

※そのまま終了する場合は、「**キャンセル**」ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。

※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選択し、「**ダウンロード**」ボタンをクリックします。⇒2-2章[2] 参照

ただし、操作をする前にVMUにログインしておく必要があります。



## 2. 基本操作

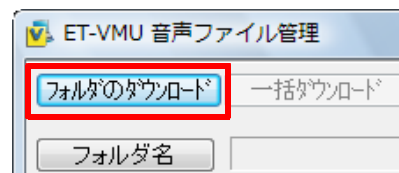
### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### ■ダウンロード先フォルダを削除する

一度設定したダウンロード先フォルダを削除することができます。必要なときに行ってください。

ただし、フォルダのダウンロード(⇒2-2章[2] 参照)または録音情報／音声ファイルのダウンロード(⇒2-3章 参照)を実施したフォルダは削除できません。

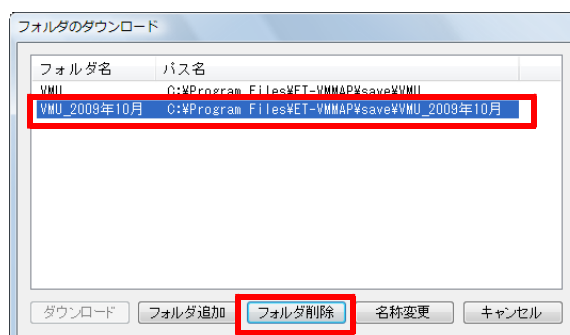
- 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の「フォルダのダウンロード」ボタンをクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、削除するフォルダを選択し、「フォルダ削除」ボタンをクリックする

※フォルダのダウンロード(⇒2-2章[2] 参照)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「\*」を表示)は、削除できません。

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

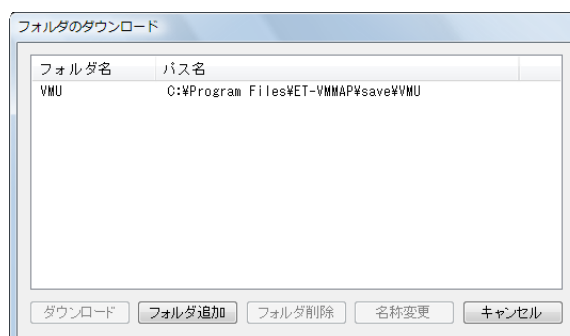


- 3 「削除の確認」画面が表示されるので、削除してよい場合は「はい(Y)」ボタンをクリックする

※やり直す場合は「いいえ(N)」ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

- 4 削除が完了すると、「フォルダのダウンロード」画面から対象フォルダが削除される

※そのまま終了する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。



#### ご注意

- 本章の「■ダウンロード先のフォルダを作成する」の操作3で、“フォルダ作成先のフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。”と説明していますが、間違ってフォルダ作成先に既存のフォルダを指定した場合、既存のフォルダの直下のフォルダが「ファイルのダウンロード」画面に全て表示されます。フォルダ内の構成によっては「フォルダのダウンロード」画面で削除することができます。削除してしまった場合、フォルダ内のデータも削除されゴミ箱には残りませんので注意してください。

## 2. 基本操作

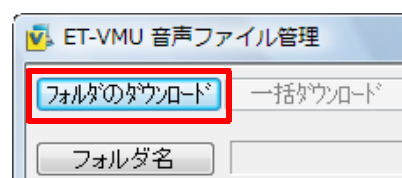
### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### [2] VMU側のフォルダをダウンロードする 必須

ダウンロード先のフォルダを作成したら、フォルダのダウンロードを行います。本アプリケーションを初めて使うときは、必ず行ってください。フォルダのダウンロードを行うことで、パソコン内にVMUのボックスと同じ構成のボックスフォルダが作成されます。

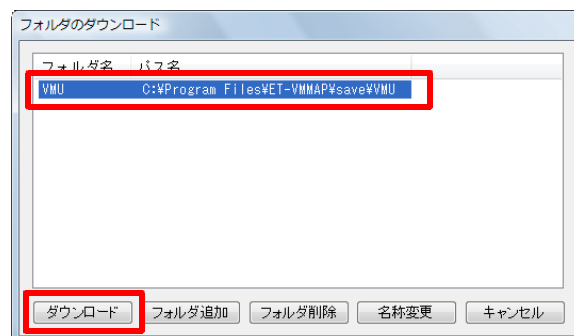
#### 1 本アプリケーションを起動したら、VMUにログインしメイン画面の「フォルダのダウンロード」ボタンをクリックする

※ログインの方法は2-1章を参照してください。



#### 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選択し、「ダウンロード」ボタンをクリックする

※「ダウンロード」ボタンがグレイアウトしているときは、ログアウトしています。一定時間経過すると自動的にログアウトしますので、再度ログインしてください。  
※フォルダのダウンロードを実施したフォルダは、パス名の先頭に「\*」が表示されます。  
※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は「はい(Y)」ボタンをクリックする

※やり直す場合は「いいえ(N)」ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。

#### 4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※ダウンロード中に中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。ボックスフォルダは作成されません。

#### 5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

#### 6 メイン画面に戻る

※「フォルダ」ボタンの右枠には、ダウンロード先のフォルダが表示されます。

#### 補足説明

- 既にフォルダのダウンロードを実施済みのフォルダに対してフォルダのダウンロードを実施した場合、パソコン内に設定されていないボックスフォルダのみ追加されます。VMU側にはないボックス番号のフォルダは削除されずそのまま残ります。
- VMU側で管理している留守録BOX番号は01～15です。主装置のタイプによっては対応していない留守録BOXも含まれますが、全ての留守録BOX番号のフォルダ(01～15)が作成されます。

#### ご注意

- 主装置側の内線番号を変更したときは、内線BOXのBOX番号も変更となります。フォルダのダウンロードをやり直してください。なお、内線番号の変更があった場合、変更前後で録音情報を管理できるよう、ダウンロード先のフォルダを新規に作成することをお勧めします。2-2章[1]を参照し、これまでとは別のダウンロード先フォルダを作成してください。

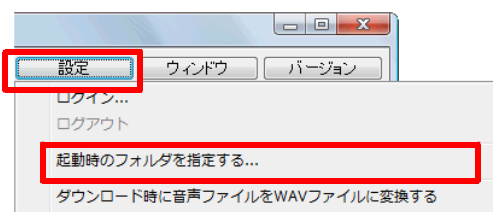
## 2. 基本操作

### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### [3] 起動時のフォルダを指定する

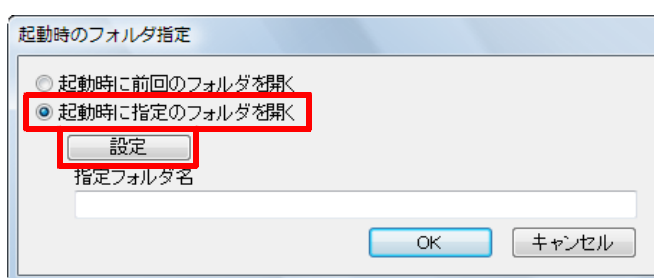
本アプリケーションを起動した場合、前回終了したときのフォルダを開くか、指定のフォルダを開くかを設定できます。複数のダウンロード先フォルダを設定している場合、必要に応じて設定してください。初期は「起動時に前回のフォルダを開く」設定になっています。

- 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「起動時のフォルダを指定する...」をクリックする



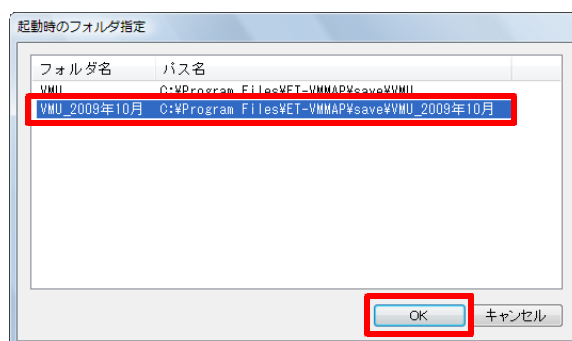
- 2 「起動時のフォルダ指定」画面となるので、「起動時に指定のフォルダを開く」を選択し、**設定** ボタンをクリックする

※既にフォルダの指定がある場合は、「起動時に指定のフォルダを開く」が選択状態となり、「指定フォルダ名」にフォルダ名が表示されます。  
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



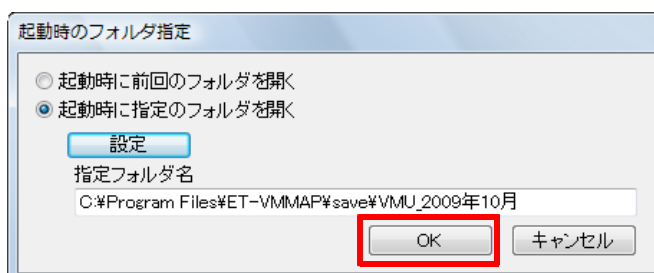
- 3 フォルダを選択する画面となるので、フォルダを指定し、**OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。操作2の画面に戻ります。



- 4 「起動時のフォルダ指定」画面の「指定フォルダ名」欄に操作3で指定したフォルダ名が表示されるので、**OK** ボタンをクリックして終了する

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



## 2. 基本操作

### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

#### 補足説明

- 「起動時に前回のフォルダを開く」に設定した場合は、前回終了時に指定していたフォルダおよびボックスの録音情報一覧が全表示の状態が表示されます。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」に設定した場合は、前回終了時に指定したフォルダの録音情報一覧を表示していたときは「起動時に前回のフォルダを開く」と同様に、前回終了時に指定していたフォルダおよびボックスの録音情報一覧が全表示の状態が表示されますが、前回終了時に別のフォルダの録音情報一覧を表示していたときは、フォルダのみが指定状態となり、録音情報一覧は表示されません。 ボタンをクリックし、表示するボックスを指定してください。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」の状態から「起動時に前回のフォルダを開く」に変更したあとに、「起動時に指定のフォルダを開く」に戻す場合は、指定フォルダ名は再度指定する必要があります。

## 2. 基本操作

### 2-2 ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

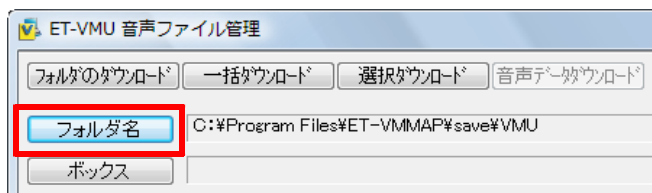
#### [4] ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する

本アプリケーションは複数のダウンロード先フォルダを設定することができます。例えば、年や月の期間ごとにダウンロード先フォルダを変更し、録音情報を管理することができます。

複数のダウンロード先フォルダを設定している場合は、下記の操作でダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更してください。

#### 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の「フォルダ名」ボタンをクリックする

※「フォルダ名」ボタンの右枠には、現在指定しているフォルダ名を表示します。



#### 2 「フォルダ変更」画面となるので、フォルダを指定し「フォルダ変更」ボタンをクリックする

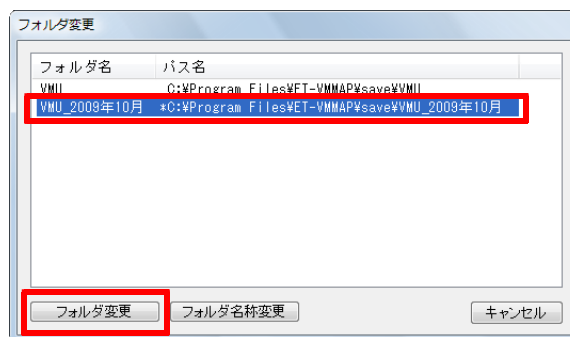
※フォルダのダウンロード(⇒2-2章[2] 参照)を行っていないフォルダは表示されません。

※フォルダのダウンロードのみ実施したフォルダは、パス名の先頭に「\*」が表示されます。録音情報／音声ファイルもダウンロードしているフォルダは「\*」が表示されません。

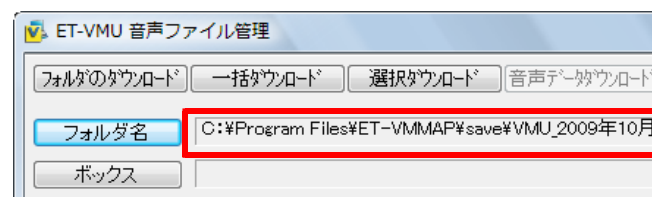
※「フォルダ名称変更」ボタンをクリックすると、フォルダ名を変更することもできます。

「フォルダ名称変更」画面が表示されますので、フォルダ名称を変更して「OK」ボタンをクリックしてください。変更後の「フォルダ変更」画面が再表示されます。

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 メイン画面に戻ると、「フォルダ名」ボタンの右枠が操作2で指定したフォルダ名に変更されていることを確認する



#### 補足説明

- ダウンロード先フォルダの作成方法は、2-2章[1]の「■ダウンロード先フォルダを作成する」を参照してください。
- 録音情報／音声ファイルのダウンロード先フォルダや録音情報を表示するフォルダの指定は「フォルダ名」ボタンで行いますが、VMU側のフォルダをダウンロードするときのダウンロード先の指定は「フォルダのダウンロード」ボタンで行います。詳細は2-2章[2]を参照してください。

## 2. 基本操作

### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

#### [1] ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する

VMUからダウンロードする音声ファイルは独自ファイルのため、再生時にパソコンで再生可能なWAVファイルに変換して再生しますが、ダウンロード時にWAVファイルに変換することもできます。

WAVファイルに変換していない音声メッセージは、再生時にWAVファイルに変換したり、録音情報一覧で音声メッセージを選択してWAVファイルに変換することもできますが、ダウンロード時にWAVファイルに変換しておく、すぐに再生することができます、あとからWAVファイルに変換する手間を省けます。

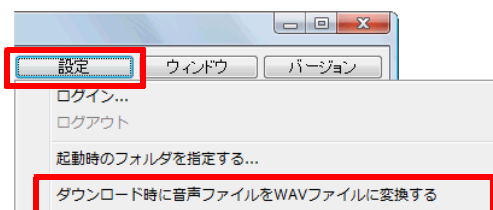
ただし、ダウンロード時間は通常よりもかかりますので、必要に応じて設定してください。

初期は変換しない設定になっています。

**1** 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」をクリックする

※「設定メニュー」を開いたとき、設定があるとチェックマーク(✓)が表示されます。

※操作するごとに、設定有無が変化します。



#### 補足説明

- WAVファイルに変換した場合でも、元の音声ファイルは消去されません。
- WAVファイルのみを消去することもできます。詳細は2-6章[2]を参照してください。

#### ご注意

- ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する場合、長時間録音した音声ファイルがあると、PCのスペックや動作環境により「通信エラーが発生しました。」のエラー画面が表示されることがあります。エラーが発生する場合は、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」のチェックマーク(✓)を外し、再度ダウンロードしてください。WAVファイルへの変換は、再生時や録音情報一覧で音声メッセージを選択したときに行うことができます。詳細は2-5章、3-2章を参照してください。



## 2. 基本操作

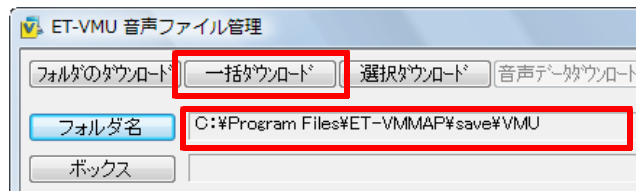
### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

#### [2] 全てのボックスを一括ダウンロードする (全てのボックスのダウンロード時は必須)

VMUに録音されている全ての留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルをダウンロードします。  
ダウンロード種別として、録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードするモードと、録音情報のみダウンロードするモードを選択できます。

録音情報のみダウンロードした場合、音声ファイルは必要なもののみ後からダウンロードすることができます。

- 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダがダウンロード先のフォルダであることを確認し、**一括ダウンロード** ボタンをクリックする

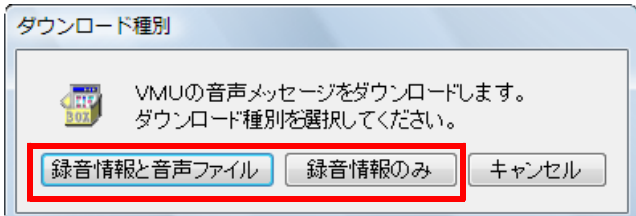


※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

- 2 「ダウンロード種別」画面となるので、ダウンロードを行う種別に対応したボタンをクリックする

※ **録音情報と音声ファイル** ボタンをクリックすると、録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードします。  
**録音情報のみ** ボタンをクリックすると、録音情報のみダウンロードします。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「ダウンロード種別」画面に戻ります。

- 4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※既にダウンロード済の録音情報／音声ファイルは上書きされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合(⇒2-3章[1] 参照)、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAVファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロード中に中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルのみパソコン内に保存されます。また、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、変換が完了したWAVファイルのみパソコン内に保存されます。

- 5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

#### ご注意

- 操作4の「ファイルをダウンロード中です。」画面で **キャンセル** ボタンをクリックすると、「VMUとの通信が切断されました。主装置またはVMUを確認後、再接続してください。」のエラー画面が表示される場合があります。本エラーとなった場合、すぐに再接続(ログイン)することができません。約10分後に再接続(ログイン)してください。



## 2. 基本操作

### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

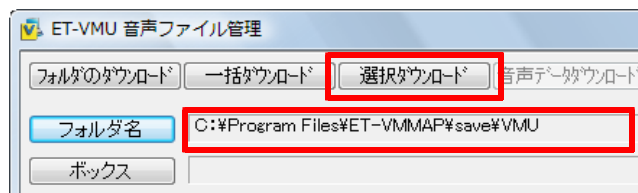
#### [3] ボックスを選択してダウンロードする ボックスを選択してのダウンロード時は必須

選択した留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルをダウンロードします。

ダウンロード種別として、録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードするモードと、録音情報のみダウンロードするモードを選択できます。

録音情報のみダウンロードした場合、音声ファイルは必要なもののみ後からダウンロードすることができます。

- 1 **本アプリケーションを起動したら、メイン画面の**  
**フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダがダウンロード先のフォルダであることを確認し、**選択ダウンロード** ボタンをクリックする



※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

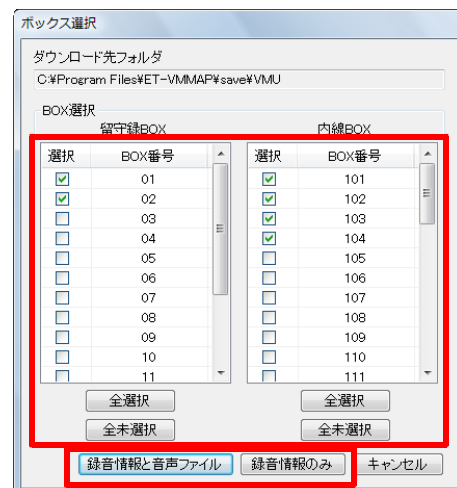
- 2 「ボックス選択」画面となるので、ダウンロードを行うBOXにチェックを入れ、ダウンロードを行う種別に対応したボタンをクリックする

※ **全選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが選択され、**全未選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが未選択となります（留守録BOX、内線BOXごと）。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス（⇒3-3章 参照）は表示されません。

※ **録音情報と音声ファイル** ボタンをクリックすると、録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードします。**録音情報のみ** ボタンをクリックすると、録音情報のみダウンロードします。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「ボックス選択」画面に戻ります。

- 4 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※既にダウンロード済の録音情報／音声ファイルは上書きされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合（⇒2-3章[1] 参照）、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAVファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロード中に中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルのみパソコン内に保存されます。また、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、変換が完了したWAVファイルのみパソコン内に保存されます。

- 5 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

#### ご注意

- 操作4の「ファイルをダウンロード中です。」画面で **キャンセル** ボタンをクリックすると、「VMUとの通信が切断されました。主装置またはVMUを確認後、再接続してください。」のエラー画面が表示される場合があります。本エラーとなった場合、すぐに再接続（ログイン）することができません。約10分後に再接続（ログイン）してください。

## 2. 基本操作

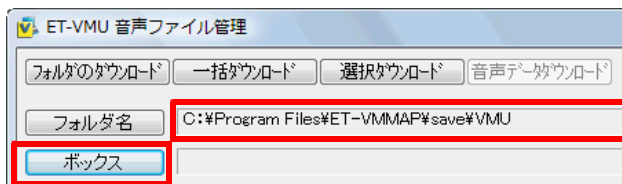
### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

#### [4] 録音情報をダウンロードした後に音声ファイルをダウンロードする 録音情報のみダウンロード時は必須

録音情報のみダウンロードした場合、録音情報一覧を開いて選択した録音情報のみ音声ファイルをダウンロードすることができます。

1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の フォルダ名 ボタンの右枠に表示されているフォルダがダウンロード先のフォルダであることを確認し、ボックス ボタンをクリックする

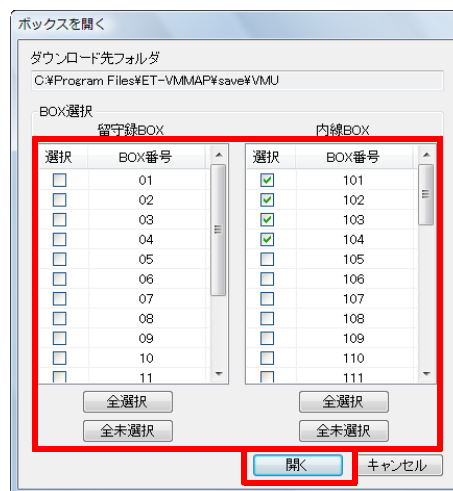
※フォルダを変更する場合は、フォルダ名 ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照




2 「ボックス選択」画面となるので、録音情報一覧を開くBOXにチェックを入れ、開く をクリックする

※ 全選択 ボタンをクリックすると、全てのボックスが選択され、全未選択 ボタンをクリックすると、全てのボックスが未選択となります(留守録BOX、内線BOXごと)。

※中止する場合は キャンセル ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

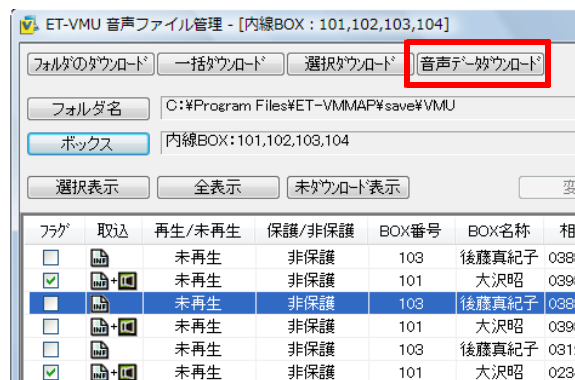


3 メイン画面の録音情報一覧で音声ファイルをダウンロードしたい録音情報を選択し、音声データダウンロード ボタンをクリックする

※「取込」欄のアイコンが  になっている録音情報は、音声ファイルがダウンロードされていません。

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると範囲指定ができ、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックすると複数指定ができます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

4 「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は はい(Y) ボタンをクリックする

※中止する場合は いいえ(N) ボタンをクリックしてください。メイン画面(録音情報選択状態)に戻ります。

## 2. 基本操作

### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

#### 5 「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※既にダウンロード済の音声ファイルは上書きされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合(⇒2-3章[1] 参照)、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAVファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロード中に中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルのみパソコン内に保存されます。また、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、変換が完了したWAVファイルのみパソコン内に保存されます。

#### 6 「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

#### 補足説明

- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、操作3でメイン画面の **未ダウンロード表示** ボタンがアクティブ表示となります。**未ダウンロード表示** ボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報のみを表示することができます。**全表示** ボタンをクリックすると全ての表示に戻ります。

## 2. 基本操作

### 2-3 録音情報／音声ファイルのダウンロード

#### [5] 録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について

VMUから録音情報／音声ファイルをダウンロードするとき、VMU側の音声メッセージの状況やパソコン側の状況によってはエラー画面が表示される場合があります。

#### ■エラー内容

エラー画面の表示	エラーとなった原因
音声ファイルは既に消去されています。	該当する音声メッセージはVMU側で既に消去されています。 (1個以上の音声ファイルをダウンロード時で、該当する音声メッセージが全て消去されている場合)
PCのメモリ不足です。	パソコン側のメモリ(ハードディスク等の空き容量)が不足しています。 (1個以上の音声ファイルをダウンロード時で、該当する音声メッセージが全て保存できない場合)
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした (音声ファイルなし)。	該当する音声メッセージはVMU側で既に消去されています。 (2個以上の音声ファイルをダウンロード時) ※消去されていない音声ファイルのみパソコン側に保存されます。
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした (PCのメモリ不足)。	パソコン側のメモリ(ハードディスク等の空き容量)が不足しています。 (2個以上の音声ファイルをダウンロード時) ※メモリ不足になる前にダウンロードできたファイルのみパソコン側に保存されます。
通信エラーが発生しました。	パソコンとVMU間の通信が途切れました。 ※2個以上の録音情報や音声ファイルをダウンロード時は、通信エラーとなる前にダウンロードできたファイルのみパソコン側に保存されます。また、WAVファイルに変換中だった場合は、WAV変換完了後にエラー画面を表示します。 ※ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する場合、長時間録音した音声ファイルがあると、PCのスペックや動作環境により通信エラーとなることがあります。エラーが発生する場合は、「ダウンロード時に音声ファイルをWAVファイルに変換する」のチェックマーク(✓)を外し、再度ダウンロードしてください。WAVファイルへの変換は、再生時や録音情報一覧で音声メッセージを選択したときに行うことができます。詳細は2-5章、3-2章を参照してください。

#### 補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の  ボタンをクリックすると次のエラー画面となります。全てのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

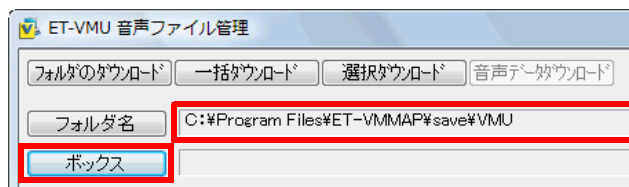
## 2. 基本操作

### 2-4 録音情報を表示する

#### [1] 録音情報一覧を表示する 必須

VMUからダウンロードした録音情報を一覧表示することができます。

- 1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが録音情報を表示したいフォルダであることを確認し、**ボックス** ボタンをクリックする



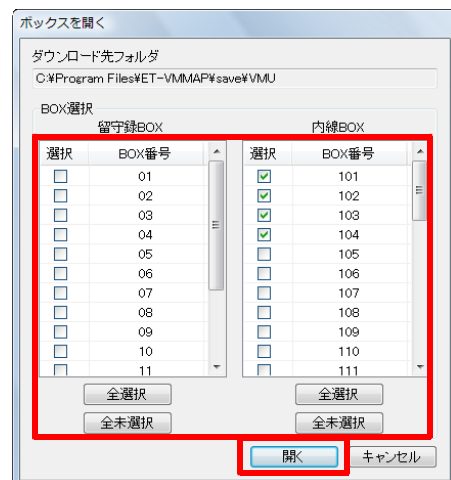
※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

- 2 「ボックス選択」画面となるので、録音情報一覧を開くBOXにチェックを入れ、**開く** をクリックする

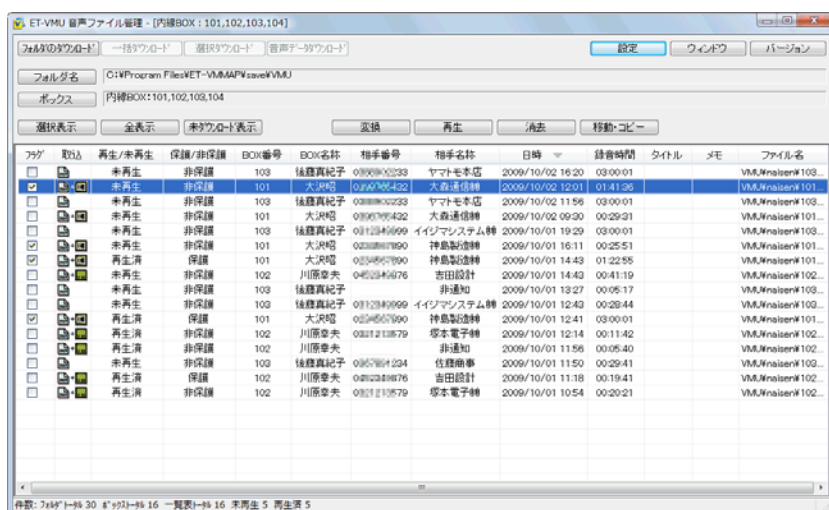
※ **全選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが選択され、**全未選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが未選択となります(留守録BOX、内線BOXごと)。

※既に一覧表示しているBOXはグレーアウトとなり指定できません。新たに指定したBOXは別ウィンドウとして表示されます。複数の画面を表示する場合は、**ウィンドウ** ボタンをクリックすると並べて表示したり重ねて表示したりできます。詳細は2-4章[2]を参照してください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 メイン画面に録音情報一覧が表示される



#### 補足説明

- 録音情報一覧の項目については、1-7章を参照してください。
- 件数にもよりますが、録音情報一覧を開くまで時間がかかる場合があります。一覧表を開くまでは「一覧表を開く」画面が表示され、進行状況が表示されます。
- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、操作3でメイン画面の **未ダウンロード表示** ボタンがアクティブ表示となります。**未ダウンロード表示** ボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報ののみを表示することができます。**全表示** ボタンをクリックすると全ての表示に戻ります。

#### ご注意

- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示で表示されます。最大化表示されている録音情報一覧は、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックして「並べる表示」等の表示方法を選択してからウィンドウの **X** ボタンをクリックしてください。詳細は2-4章[2]を参照してください。

## 2. 基本操作

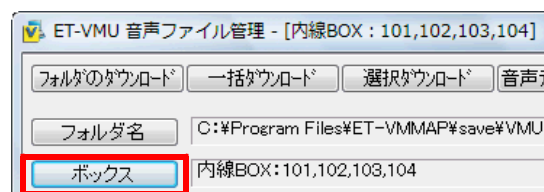
### 2-4 録音情報を表示する

#### [2] 録音情報一覧を複数表示する

同じフォルダ内であれば、最大4個までの録音情報一覧を表示できます。

1個の録音情報一覧で複数のBOXの情報を表示できますが、複数の録音情報一覧を開くことにより、留守録BOXと自分の内線BOXの録音情報一覧を並べて表示することなどが可能になります。

#### 1 録音情報一覧を表示している状態で、**ボックス** ボタンをクリックする

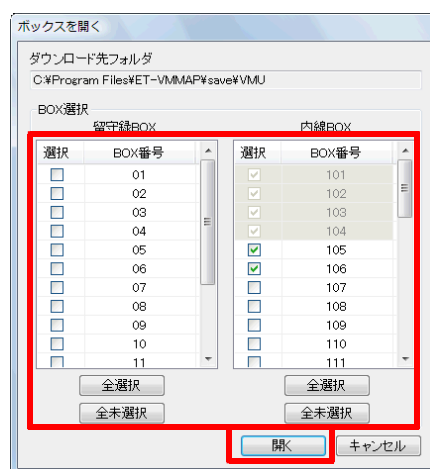


#### 2 「ボックス選択」画面となるので、新たに録音情報一覧を表示したいBOXにチェックを入れ、**開く** をクリックする

※ **全選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが選択され、**全未選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが未選択となります(留守録BOX、内線BOXごと)。

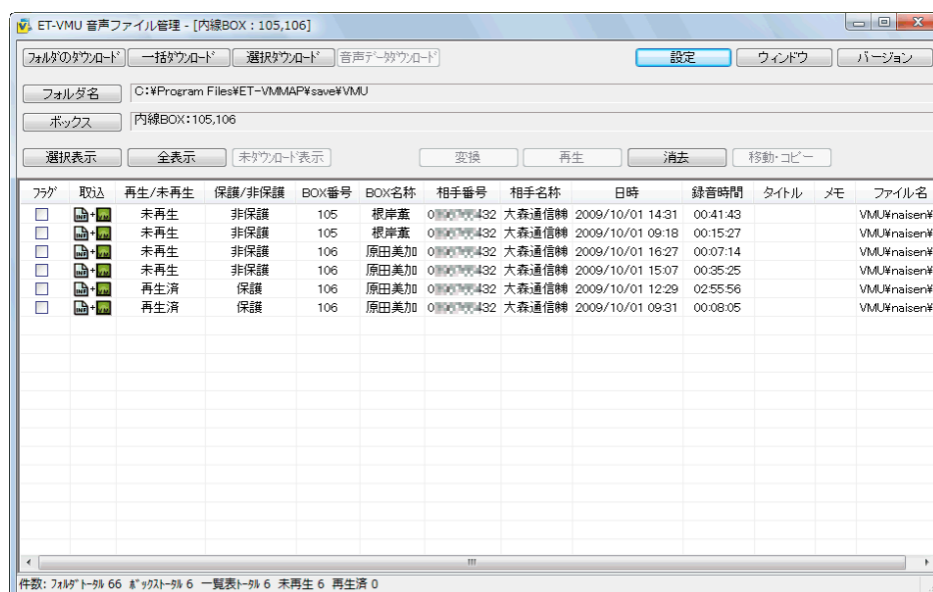
※既に一覧表示しているBOXはグレースアウトとなり指定できません。再指定する場合は、該当する録音情報一覧を閉じてください。閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックして「並べて表示」等の表示方法を選択してからウィンドウの **X** ボタンをクリックしてください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 メイン画面に新たに指定したBOXの録音情報一覧が表示される

※新たに指定したBOXは別ウィンドウとして最大化表示されます。



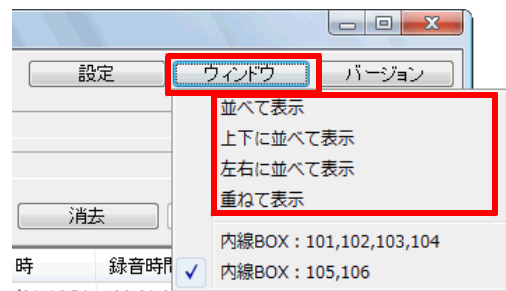


## 2. 基本操作

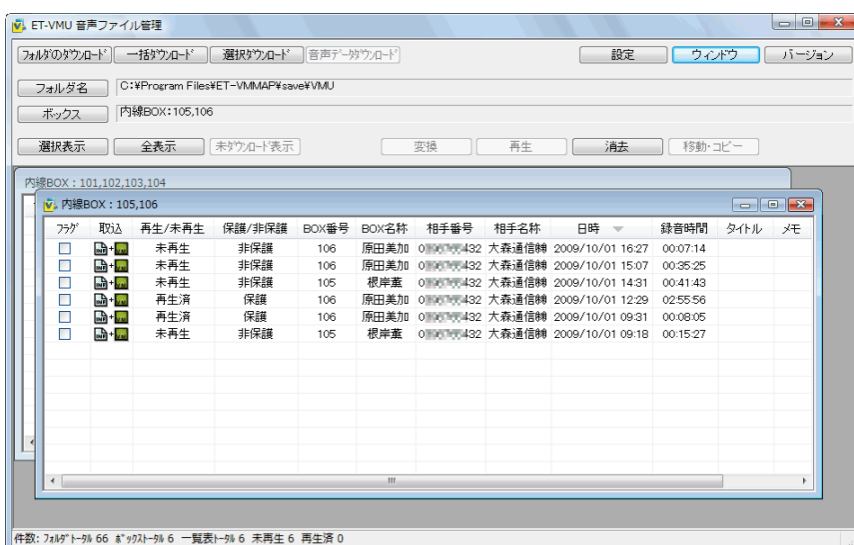
### 2-4 録音情報を表示する

#### 4 メイン画面の **「ウィンドウ」** ボタンをクリックし、表示方法を選択する

※お好みの表示方法を選択してください。



#### 5 操作4で指定した表示方法で複数の録音情報一覧が表示される(画面は「重ねて表示」の例)



#### 補足説明

- 録音情報一覧を4個開いている場合は、操作2で **「開く」** ボタンをクリックすると「開ける一覧表が上限に達しています。」のエラー画面となります。 **「OK」** ボタンをクリックするとメイン画面に戻ります。
- 複数の録音情報一覧を表示しているとき、 **「ウィンドウ」** ボタンをクリックすると、表示方法以外に現在開いている録音情報一覧のリスト(対象のBOX番号)を表示できます。アクティブになっている録音情報一覧にチェックマーク(✓)が表示されます。また、本リストをクリックすることでアクティブにする録音情報一覧を切り替えることができます。
- **「ボックス」** ボタンの右枠には、アクティブな録音情報一覧で表示しているBOX番号が表示されます。
- アクティブな録音情報一覧の右上のボタンで、最小化・最大化・閉じるの操作ができます。
- メイン画面の各機能ボタンは、アクティブな録音情報一覧に対して機能します。

#### ご注意

- 同時に表示できるのは、同じフォルダ内のボックスのみです。別のフォルダを指定すると開いている録音情報一覧は全て閉じます。
- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示で表示されます。最大化表示されている録音情報一覧は、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **「ウィンドウ」** ボタンをクリックして「並べる表示」等の表示方法を選択してからウィンドウの **「X」** ボタンをクリックしてください。

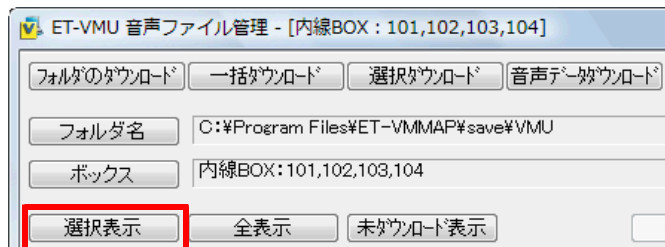
## 2. 基本操作

### 2-4 録音情報を表示する

#### [3] 条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する

録音情報一覧の各項目の条件を指定し、条件に合った録音情報のみを絞り込んで表示することができます。

#### 1 録音情報一覧を表示している状態で、 「選択表示」ボタンをクリックする



#### 2 「選択表示」画面となるので、必要な項目にチェックを入れて検索条件を入力/選択したら 「OK」をクリックする

※複数の項目を選択することができます。①～⑪の検索条件に関しては、次ページの「■各項目の検索条件」を参照してください。

※検索条件を空欄にした場合は、該当項目が空欄のものを検索します。

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 検索条件で絞り込まれた録音情報一覧が表示される

※「全表示」ボタンをクリックすると全ての表示に戻ります。

※選択した検索条件に該当する録音情報がない場合は、「該当するメッセージがありません。」のエラー画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックするとメイン画面に戻ります。



## 2. 基本操作

### 2-4 録音情報を表示する

#### ■各項目の検索条件

番号	項目	入力方法／選択方法
①	日付	検索する期間を入力します。範囲が一日の場合は、開始と終了に同じ日付を入力してください。 ・直接入力する場合：年(4桁)/月(2桁)/日(2桁)を全て半角で入力します。(例：2009/09/01) ・カレンダーを表示して入力する場合：入力欄右の  をクリックするとカレンダー画面が表示されますので、日付をクリックしてください。年月を切り替える場合は、  または  をクリックするか、年の欄をクリックしてスクロールボタンで年を選択し、月の欄をクリックして表示されるリストから月を選択します。 また、カレンダー画面下側の「□今日：2009/10/01」(例)をクリックすると、今日の日付が入力できます。 カレンダー画面からの入力を中止する場合は、カレンダー画面以外の部分をクリックしてください。
②	タイトル	入力した文字で始まるタイトルを検索します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。 全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。 ※タイトルはVMUからダウンロードする録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(⇒3-5章 参照)で入力します。
③	BOX番号	入力した英数字で始まるBOX番号を検索します。 検索するBOX番号を半角英数字4文字以内で入力してください。 (内線BOX：数字1～4桁、留守録BOX：R01～R15)
④	BOX名称	入力した文字で始まるBOX名称を検索します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。 全角5文字/半角10文字以内で入力してください(*1)。 ※BOX名称欄はVMUからダウンロードする録音情報には含まれません。「BOX名称編集」画面(⇒3-6章 参照)で入力します。
⑤	相手番号	入力した数字で始まる相手の電話番号を検索します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。 半角32文字以内(/全角16文字以内)で入力してください。 ※VMUからダウンロードする録音情報に含まれる電話番号は半角数字のみですが、「録音情報編集」画面(⇒3-5章 参照)で電話番号の編集が可能のため、半角数字以外も入力可能になっています。
⑥	相手名称	入力した文字で始まる相手名称/非通知理由を検索します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。 全角16文字/半角32文字以内で入力してください(*1)。 ※相手名称はVMUからダウンロードする録音情報には含まれますが、「録音情報編集」画面(⇒3-5章 参照)で編集することもできます。
⑦	再生／未再生	パソコンで再生済のメッセージ／パソコンで未再生のメッセージの何れかを選択します。
⑧	保護／非保護	保護されているメッセージ／保護されていないメッセージの何れかを選択します。
⑨	取込	ダウンロード(取込)状態で検索します。 「録音情報＋音声データ」は、再生済／未再生／消去済の中から複数を選択できます。 「録音情報のみ」を選択した場合は、「録音情報＋音声データ」は選択できません。
⑩	フラグ	音声情報に付けたフラグ(チェックマーク「✓」)の有無で検索します。
⑪	メモ	入力した文字で始まるメモを検索します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。 全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。 ※メモはVMUからダウンロードする録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(⇒3-5章 参照)で入力します。

\*1: タイトル、BOX名称、相手名称、メモは、曖昧な検索が可能なワイルドカードも使用できます。

ワイルドカード文字	意味
% (半角)	0個以上の文字がその位置に入る。
_ (半角)	1個の文字がその位置に入る。

#### 検索例

入力文字	検索結果
%株式	AA株式      ABC株式会社      株式会社EEE
新%工業	新日本工業      新東京電機工業(株)
日本%	日本工業 (前方一致と同様)
_日本	新日本      北日本
__電気	東京電気      関東電気
新_会社	新日本会社      新電気会社
関東_	関東電気 (前方一致と同様)

## 2. 基本操作

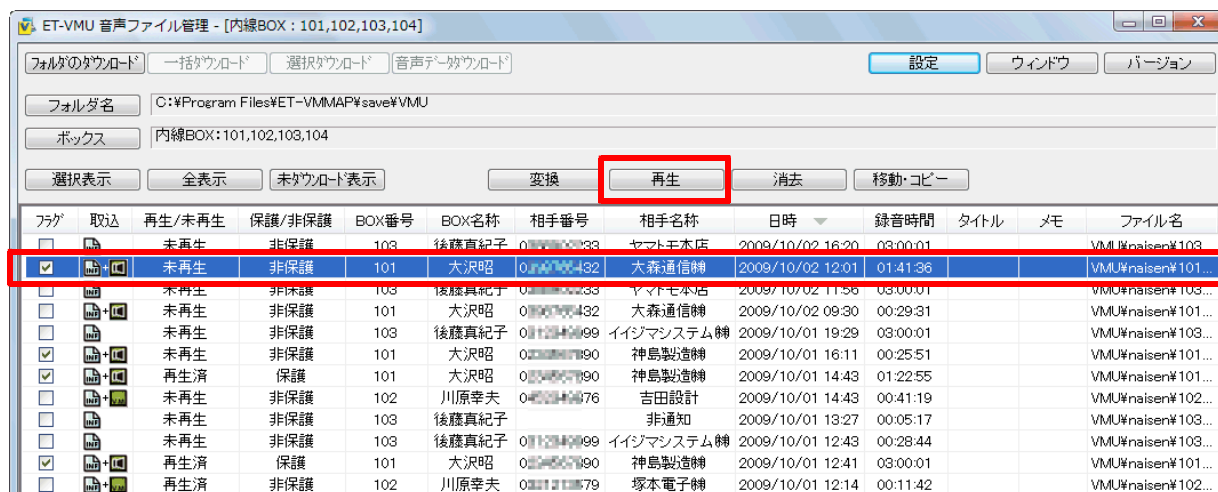
### 2-5 音声メッセージを再生する 必須

録音情報一覧の録音情報を選択し、音声メッセージをパソコンで再生することができます。

#### 1 録音情報一覧を表示したら、音声メッセージを再生したい録音情報を選択し、再生 ボタンをクリックする

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

※キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックし録音情報を範囲選択した場合や、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックし録音情報を複数選択した場合は、再生できません。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

#### 2 汎用のプレーヤーが起動し、音声メッセージが再生される

※再生を終了するときは、汎用のプレーヤー側で終了操作を行ってください。

## 2. 基本操作

### 2-5 音声メッセージを再生する

#### 補足説明

- WAVファイルに変換していない音声メッセージを再生するときは、WAVファイルに自動変換してから再生します。変換中は「変換中」画面が表示されます。パソコンのスペックによっても異なりますが、長時間の音声メッセージの場合は数分かかる場合があります。
- 本アプリケーションで変換したWAVファイルは、Windows Media® Playerでの再生を推奨します。WAVファイルの関連付けが他のプレーヤーになっている場合でパソコンを使用する上で支障がない場合は、関連付けを変更してください。  
※関連付けの変更方法の例(詳しくは、パソコン関連の説明書等を確認してください):
  - (1)Windows Media Playerのツールバーを表示し、「ツール」→「オプション」→「ファイルの種類」タブで、「Windows オーディオ ファイル」を選択してください。
  - (2)エクスプローラ等でWAVファイルを右クリックし、「プログラムから開く」→「プログラムの選択...」(Windows® XPのみ)→「Windows Media Player」を選択し、「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」にチェックを入れ、 ボタンをクリックする。
- Windows Media® Playerで再生する場合、再生中に別の音声メッセージを再生するとこれまでの再生を終了し、後から選択した音声メッセージを再生します。但し、使用するプレーヤーによっては複数のウィンドウが開き、同時再生を行いますので、再生毎にプレーヤーを終了してください。
- 再生を行った録音情報は、再生開始時点で「再生/未再生」欄の表示が「再生済」に切り替わります。

#### ご注意

- 「設定メニュー」で「再生後にWAVファイルを自動消去する」が設定してあると(⇒1-8章 参照)、再生済みのWAVファイルは本アプリケーション終了時に消去されます。再生時に自動変換したWAVファイルだけでなく、メイン画面の  ボタンで変換したWAVファイルも再生済みのファイルは消去されます。
- 音声ファイルがダウンロードされていない場合は再生できません。音声ファイルをダウンロードしてください。  
⇒2-3章[4] 参照

## 2. 基本操作

### 2-6 音声メッセージを消去する

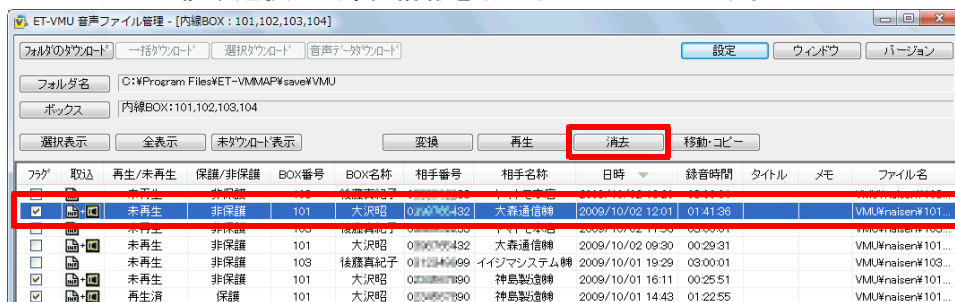
#### [1] 一覧表から選択して消去する

録音情報一覧の録音情報を選択し、パソコン側の録音情報および音声ファイルを消去できます。  
また、VMU側の音声メッセージを消去することもできます。

#### 1 録音情報一覧を表示したら、消去したい録音情報を選択し、**消去** ボタンをクリックする

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

※キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックし範囲選択した録音情報を消去することや、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックし複数選択した録音情報を消去することもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

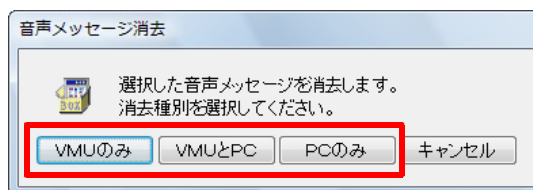
#### 2 「音声メッセージ消去」画面となるので、消去種別に対応したボタンをクリックする

※消去種別は下記のとおりです。

- ・ **VMUのみ** ボタン…VMU側の音声メッセージのみ消去
- ・ **VMUとPC** ボタン…VMU側の音声メッセージおよびパソコン側の録音情報・音声ファイルを消去
- ・ **PCのみ** ボタン…パソコン側の録音情報・音声ファイルを消去

ログインしていないときは、**PCのみ** ボタンのみ有効です。VMU側の音声メッセージを消去したい場合はログインしてください。⇒2-1章 参照

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 「消去の確認画面」が表示されるので、消去してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「音声メッセージ消去」画面に戻ります。

#### 4 「消去中」画面となり、進行状況が表示される

※中断することはできません。

#### 5 「消去完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※ **VMUのみ** ボタンで消去した場合、録音情報一覧の「取込」欄のアイコンは、・表示になります。

※ **VMUとPC** または **PCのみ** ボタンで消去した場合、録音情報一覧から消去されます。

パソコン内の録音情報ファイル・音声ファイル以外に変換したWAVファイルも消去されます。

#### 補足説明

- VMU側の音声メッセージは、ダウンロード先のBOXの録音情報一覧で選択した場合に消去することができます。  
音声メッセージの移動・コピーを行った場合、移動・コピー先のBOXの録音情報一覧から該当するVUM側の音声メッセージを消去することはできません。
- 「保護/非保護」欄の表示が「保護」になっている場合は、消去されません。

## 2. 基本操作

### 2-6 音声メッセージを消去する

#### ■エラー内容

VMU側の音声メッセージの状況やパソコン側の状況によってはエラー画面が表示される場合があります。消去種別によって該当するエラー(○)と該当しないエラー(ー)とがあります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因	消去種別		
		VMUのみ	VMUとPC	PCのみ
内線BOX101の音声メッセージは使用中のため消去できません。 (内線BOX101を指定したときの例)	選択した音声メッセージが登録されている内線BOXはVMU側で使用中(電話機等で再生中)です。 (1個の音声メッセージを消去時)	○	○ *1	ー
留守録BOX01の音声メッセージは使用中のため消去できません。 (留守録BOX01を指定したときの例)	選択した音声メッセージが登録されている留守録BOXはVMU側で使用中(電話機等で再生中)です。 (1個の音声メッセージを消去時)	○	○ *1	ー
音声メッセージは使用中のため消去できません。	選択した音声メッセージが登録されている内線BOX/留守録BOXはVMU側で使用中(電話機等で再生中)です。 (2個以上の音声メッセージを消去時で全て同じ原因の場合)	○	○ *1	ー
音声ファイルがダウンロードされていません。	音声ファイルがダウンロードされていません。 (1個以上の音声メッセージを消去時で全て同じ原因の場合)	○	○ *2	ー
音声メッセージがありません。 または「保護」に設定されています。	VUM側の音声メッセージが既に消去されているか、指定した録音情報は、移動またはコピーされたものです。 (1個以上の音声メッセージを消去時で全て同じ原因の場合)	○	○ *1	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。 (1個以上の音声メッセージを消去時で全て同じ原因の場合)	○	○	○
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声メッセージ使用中)。	選択した音声メッセージが登録されている内線BOX/留守録BOXの一部がVMU側で使用中(電話機等で再生中)です。 (2個以上の音声ファイルを消去時)	○	○ *3	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声ファイル未ダウンロード)。	音声ファイルの一部がダウンロードされていません。 (2個以上の音声ファイルを消去時)	○	○ *4	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした (音声メッセージなし または「保護」)。	VUM側の音声メッセージが既に消去されているか、指定した録音情報は、移動またはコピーされたものです。 (2個以上の音声ファイルを消去時)	○	○ *3	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。 (2個以上の音声ファイルを消去時)	○	○	○
通信エラーが発生しました。	パソコンとVMU間の通信が途切れました。	○ *3	○ *5	ー

\*1: パソコン側のみ録音情報/音声ファイルが消去されます。

\*2: パソコン側の音声情報ファイルのみ消去されます。

\*3: パソコン側のみ該当する録音情報/音声ファイルが消去されます。

\*4: パソコン側のみ該当する音声情報ファイルが消去されます。

\*5: 2個以上の音声メッセージの消去を行ったときは、通信エラーとなる前までの音声メッセージのみ消去されます。

#### 補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の  ボタンをクリックすると次のエラー画面となります。全てのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

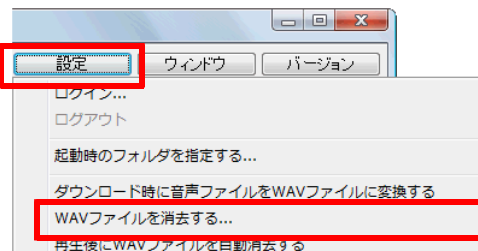
## 2. 基本操作

### 2-6 音声メッセージを消去する

#### [2]WAVファイルを消去する

BOX単位でパソコン内に作成したWAVファイルを消去することができます。

- 1 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「WAVファイルを消去する...」をクリックする



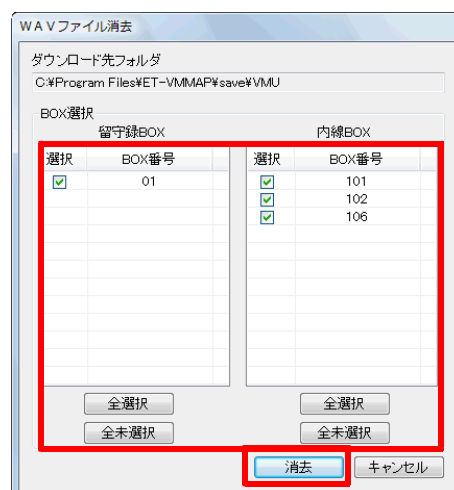
- 2 「WAVファイル消去」画面となるので、消去対象のBOXを選択し、**消去** ボタンをクリックする

※WAVファイルが作成されているBOX番号のみ表示されます。

※ **全選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが選択され、**全未選択** ボタンをクリックすると、全てのボックスが未選択となります(留守録BOX、内線BOXごと)。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス(⇒3-3章 参照)も対象となります。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「WAVファイル消去確認」画面が表示されるので、消去してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「WAVファイル消去」画面に戻ります。

- 4 「消去中」画面となり、進行状況が表示される

※中断することはできません。

- 5 「消去完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

#### 補足説明

- WAVファイルを消去してもパソコン側の音声ファイルは残ったままですので、再度WAVファイルに変換して再生することができます。
- 「設定メニュー」で「再生後にWAVファイルを自動消去する」が設定してあると(⇒1-8章 参照)、再生済みのWAVファイルは本アプリケーション終了時に消去されます。

#### ご注意

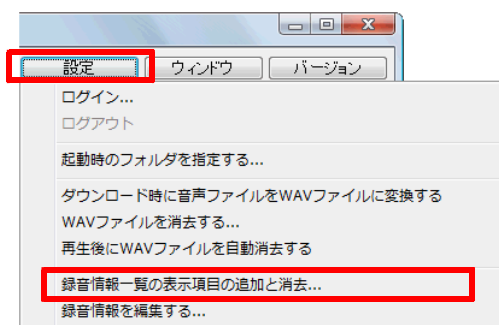
- WAVファイルの消去はBOX単位で行われます。音声メッセージの消去(⇒2-6章[1] 参照)と異なり、録音情報単位での消去はできません。

### 3. その他の操作

#### 3-1 一覧表示する項目を追加・消去する

録音情報一覧に表示する項目を追加したり消去したりすることができます。

- 1 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「録音情報一覧の表示項目の追加と消去...」をクリックする



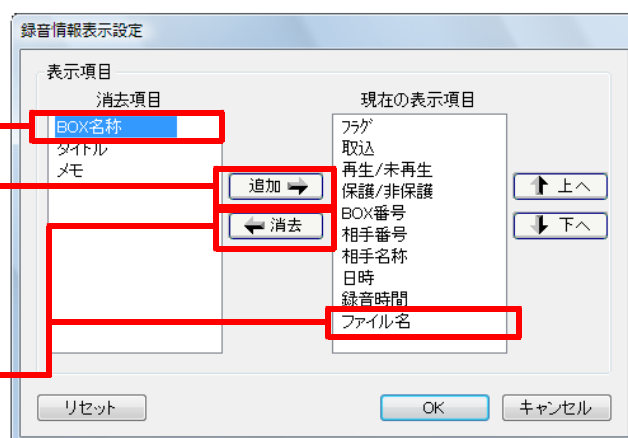
- 2 「録音情報表示設定」画面となる

① 追加する場合は、「消去項目」の中から追加する項目を選択し、**追加 ➡** ボタンをクリックする

② 消去する場合は、「現在の表示項目」の中から消去する項目を選択し、**消去 ←** ボタンをクリックする

①

②



- 3 追加後に表示順序を変更する場合は、移動する項目を選択し、**↑上へ** / **↓下へ** ボタンをクリックして移動する

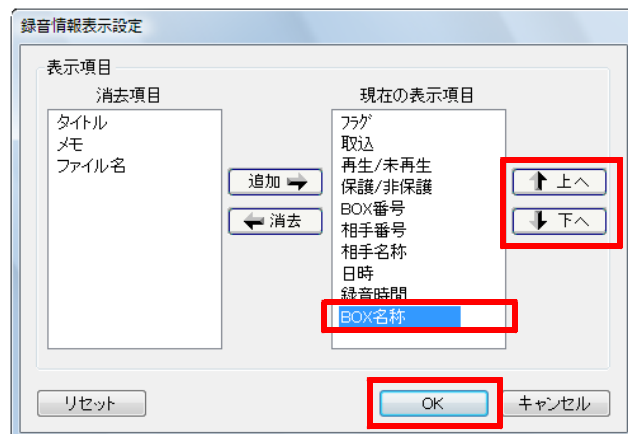
全ての変更が完了したら **OK** ボタンをクリックする

※「現在の表示項目」の上から順に、メイン画面の一覧表では左から表示します。

※ **リセット** ボタンをクリックすると、初期状態に戻ります。

「リセットの確認」画面が表示されますので、リセットしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻り、初期状態の項目構成で録音情報が再表示される。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。変更は行わずにメイン画面に戻ります。



- 4 「設定の確認」画面が表示されるので、設定してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「録音情報表示設定」画面に戻ります。

- 5 メイン画面に戻り、設定した項目構成で録音情報が再表示される



### 3. その他の操作

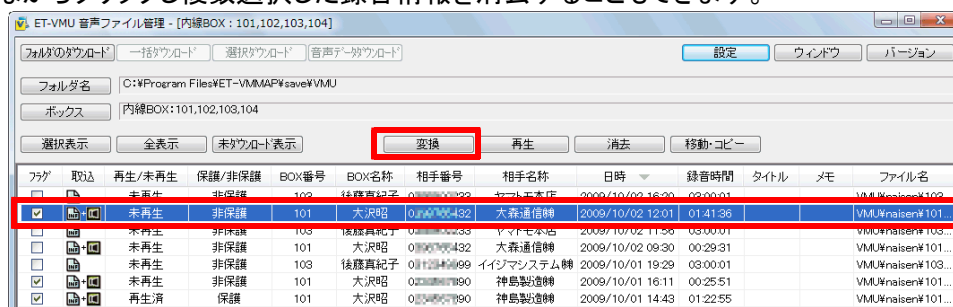
#### 3-2 ダウンロードした音声ファイルをWAVファイルに変換する

ダウンロードした音声ファイルをパソコン側で再生可能なWAVファイルに変換します。  
再生時に自動変換することもできますが、事前に変換しておくこととすぐに音声メッセージを再生することができます。

#### 1 録音情報一覧を表示したら、WAVファイルに変換したい録音情報を選択し、**変換** ボタンをクリックする

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

※キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックし範囲選択した録音情報を消去することや、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックし複数選択した録音情報を消去することもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

#### 2 「変換の確認」画面が表示されるので、変換してよい場合は**はい(Y)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

#### 3 「変換中」画面となり、進行状況が表示される

※変換を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。変換が完了したファイルのみパソコン内に保存されます。

#### 4 「変換完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

#### 補足説明

- パソコンのスペックによっても異なりますが、長時間の音声メッセージの場合は変換に数分かかる場合があります。
- 変換を行った元の音声ファイルはそのまま残ります。

#### ご注意

- 変換元の音声ファイルがない場合は変換できません。エラー画面が表示されます。複数の録音情報を選択した場合は、変換元の音声ファイルがある録音情報のみWAVファイルに変換します。
- パソコンのメモリ(ハードディスク等の空き容量)が不足している場合は変換できません。エラー画面が表示されます。ただし、エラーとなる前に変換できたWAVファイルはパソコン内に保存されます。

### 3. その他の操作

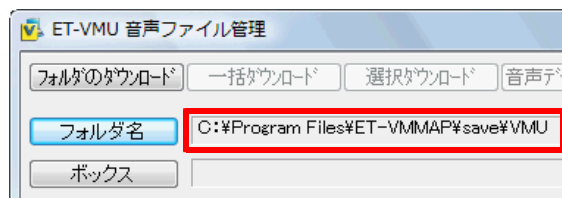
#### 3-3 音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する

##### ■ボックスフォルダを作成する

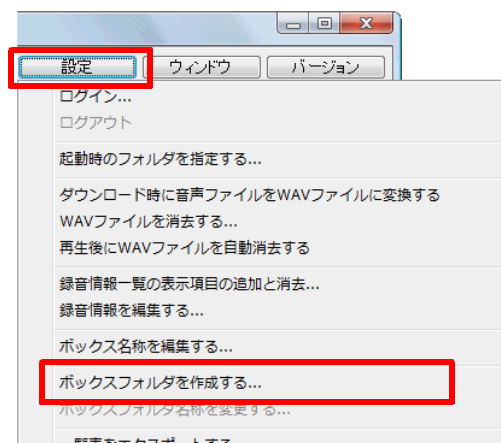
VMUから録音情報や音声ファイルをダウンロードするため、パソコン内にVMUのボックスと同じ構成のボックスフォルダが設定されますが、録音情報および音声ファイルの移動・コピー専用のボックスフォルダを独自に作成することができます。内容、用途、相手別等で録音情報を分類して管理するときなどに活用できます。

1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが移動・コピー元の録音情報が保存されているフォルダであることを確認する

※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照



2 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ボックスフォルダを作成する...」をクリックする



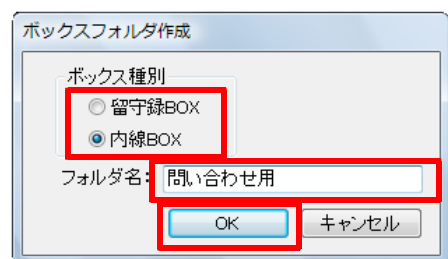
3 「ボックスフォルダ作成」画面が表示されるので、ボックス種類の選択とフォルダ名の入力を行い、**OK** ボタンをクリックする

※ボックス種別による機能の違いはありませんが、移動・コピー元のボックス種別に合わせて選択してください。

※フォルダ名は全角7文字以内／半角14文字以内で入力してください。

※同じボックス種別内に同じフォルダ名での重複登録はできません。登録済のフォルダは、メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ボックスフォルダ名称を変更する...」をクリックすると、「ボックスフォルダ名称変更」画面で確認できます。また、VMUからダウンロードしたBOX番号は使用できません。

※ボックスフォルダの作成を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4 「作成完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※ボックスフォルダが作成できているかは、メイン画面の **ボックス** ボタンをクリックして表示される「ボックスを開く」画面の「BOX番号欄」で確認できます。

##### 補足説明

- 作成したボックスフォルダには、VMUから録音情報／音声ファイルはダウンロードされません。
- ボックスフォルダのフォルダ名は、留守録BOXや内線BOXのBOX番号に相当します。フォルダ名とは別にボックス名称を登録することもできます(留守録BOXや内線BOXと同様)。⇒3-6章 参照

### 3. その他の操作

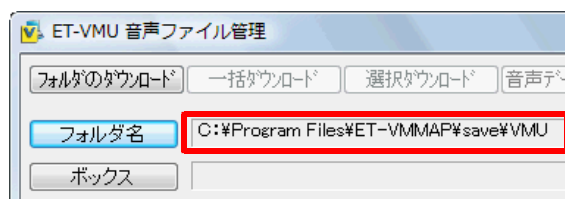
#### 3-3 音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する

##### ■ボックスフォルダ名称を変更する

作成済みのボックスフォルダの名称を変更することができます。録音情報／音声ファイルが移動・コピーされているフォルダも、フォルダ内のデータは残したまま名称を変更することができます。

1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが名称を変更するボックスフォルダが作成されているフォルダであることを確認する

※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

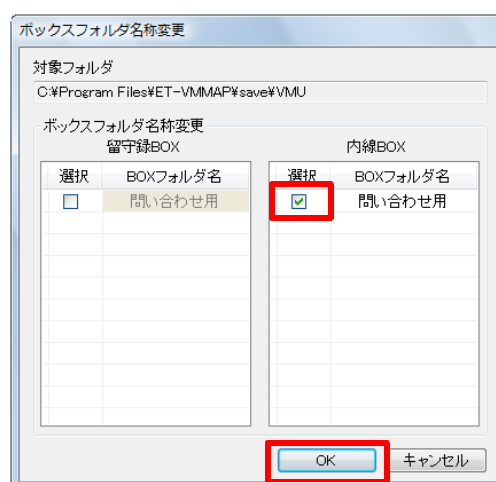


2 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ボックスフォルダ名称を変更する...」をクリックする



3 「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されるので、変更するBOXの「選択」欄をチェックし、BOXフォルダ名を直接変更したら、**OK** ボタンをクリックする

※複数のBOXフォルダ名を変更することもできます。  
※フォルダ名は全角7文字以内／半角14文字以内で入力してください。  
※同じボックス種別内に同じフォルダ名での重複登録はできません。また、VMUからダウンロードしたBOX番号は使用できません。  
※ボックスフォルダの名称変更を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4 「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

5 「変更完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※ボックスフォルダ名称が変更できているかは、メイン画面の **ボックス** ボタンをクリックして表示される「ボックスを開く」画面の「BOX番号欄」で確認できます。

## 3. その他の操作

### 3-3 音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する

#### ご注意

- ボックスフォルダ名称を変更するボックスの録音情報一覧を開いているときにボックスフォルダ名称を変更した場合は、開いている録音情報一覧を閉じてください。画面にはボックスフォルダ名称を変更する前の録音情報一覧が表示されていますが、各種機能は利用できません。

### 3. その他の操作

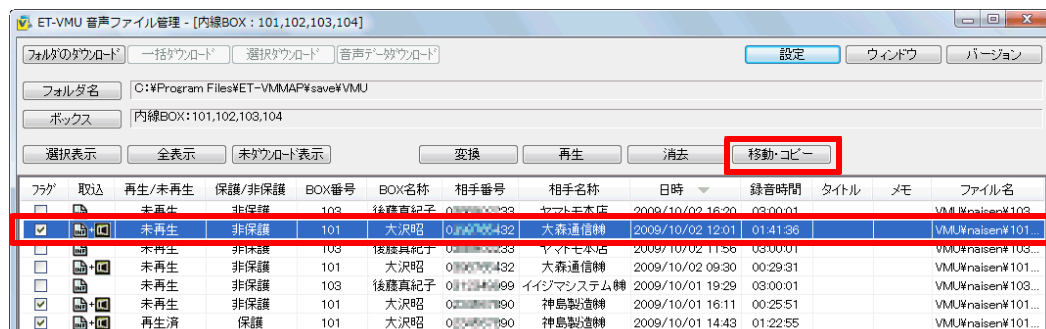
#### 3-4 音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする

VMUからダウンロードした録音情報および音声ファイルを、他のボックスフォルダに移動またはコピーすることができます。移動・コピー先として指定できるのは、同じダウンロード先フォルダ内にあるボックスフォルダのみです。

#### 1 録音情報一覧を表示したら、移動またはコピーしたい録音情報を選択し、**移動・コピー** ボタンをクリックする

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

※キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックし範囲選択した録音情報を移動・コピーすることや、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックし複数選択した録音情報を移動・コピーすることもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

#### 2 「音声メッセージ移動・コピー」画面となるので、移動・コピー先のBOX番号にチェックを入れ、**移動** または **コピー** ボタンをクリックする

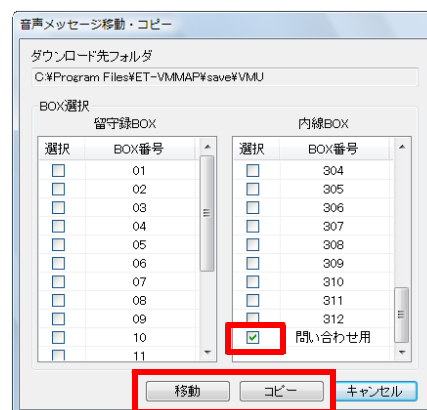
※選択できるのは一つのBOX番号のみです。

VMUからダウンロードしたBOX番号のフォルダおよびパソコン内に独自に作成した移動・コピー専用のボックスフォルダが選択できます。通常は、移動・コピー専用のボックスフォルダを選択します。

※ **移動** ボタンをクリックすると、録音情報および音声ファイルは移動され、移動元からは消去されます。

※ **コピー** ボタンをクリックすると、録音情報および音声ファイルはコピーされるだけで、移動元からは消去されません。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 3 「移動の確認」画面または「コピーの確認」画面が表示されるので、移動またはコピーしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「音声メッセージ移動・コピー」画面に戻ります。

#### 4 「移動中」画面または「コピー中」画面となり、進行状況が表示される

※移動またはコピー中に中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。移動中またはコピー中のファイルまでを移動またはコピーします。

#### 5 「移動完了」画面または「コピー完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る





### 3. その他の操作

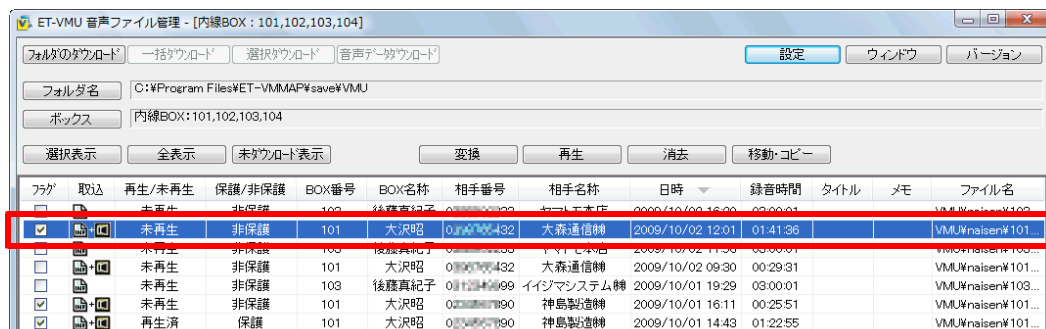
#### 3-5 録音情報を編集する

VMUからダウンロードした録音情報に、タイトルやメモを付加することができます。  
また、VMUからダウンロードできる一部の項目は内容を編集することもできます。

##### 1 録音情報一覧を表示したら、編集したい録音情報をダブルクリックする

※録音情報の表示行をクリックすると、選択状態になります。

※録音情報を選択し、**設定** ボタンをクリックして表示される「設定メニュー」から「録音情報を編集する...」をクリックして「録音情報編集」画面を表示することもできます。



★録音情報の表示行をダブルクリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でダブルクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

##### 2 「録音情報編集」画面となるので、各項目を編集し **OK** ボタンをクリックする

※編集できる項目と文字制限等は次ページの「■編集できる項目について」を参照してください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



##### 3 「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「録音情報編集」画面に戻ります。

##### 4 編集結果が反映された録音情報一覧が表示されたメイン画面に戻る

#### 補足説明

●録音情報一覧に「タイトル」、「メモ」を表示する場合は、「録音情報表示設定」画面による設定が必要です。⇒3-1章 参照



### 3. その他の操作

#### 3-5 録音情報を編集する

##### ■編集できる項目について

項 目	機 能 や 動 作 の 概 要
タイトル	初期は空欄です。 タイトルを入力できます。 ※全角20文字/半角40文字以内
相手番号	初期はメッセージを録音した相手の電話番号を表示します。情報が無い場合は空欄となります。 電話番号を修正したり、空欄の場合に電話番号を入力したりすることもできます。 ※半角32文字/全角16文字以内
相手名称	初期はメッセージを録音した相手の名称(全角16文字/半角32文字以内)を表示します。 非通知の着信は非通知理由(「非通知」・「公衆電話」・「表示圏外」・「相手がわかりません」・「相手不明です」・「相手不明」)を表示します。情報が無い場合は空欄となります。 相手名称を修正したり、空欄の場合に相手名称を入力したりすることもできます。 ※半角32文字/全角16文字以内
フラグ	フラグの有無を選択できます。初期はなしです。 ありにすると、録音情報一覧のフラグ欄にチェックマーク(✓)が表示されます。 チェックマークをいれることにより、フラグの有無によって検索条件を絞り込んで選択表示を行ったり、並び替えを行ったりすることができます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。 録音情報一覧のフラグ欄をクリックしてもフラグ有無が切り替わります。
保護/非保護	音声ファイルの保護/非保護を選択できます。初期は非保護です。 ・保護: 音声ファイルが保護されています。消去操作を行っても消去はされません。 ・非保護: 音声ファイルが保護されていません。消去操作で消去されます。
メモ	初期は空欄です。 簡単なメモを入力できます。 ※全角40文字/半角80文字以内

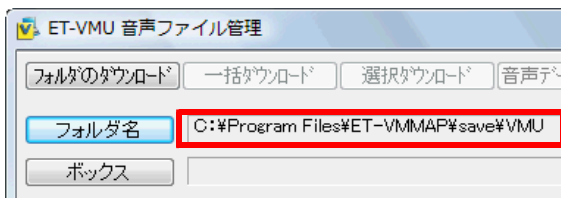
### 3. その他の操作

#### 3-6 ボックス名称を編集する

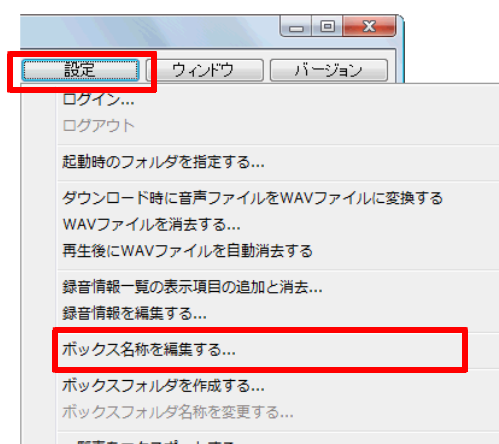
VMUからダウンロードしたボックスフォルダはBOX番号のみであり、ボックス名称は含まれていません。  
複数のボックスの録音情報を表示する場合、ボックス名称の編集機能を使って留守録BOXや内線BOXにボックス名称を登録するとこの部署の留守録BOXか、誰の内線BOXかを名称で確認することができ、使いやすくなります。

1 本アプリケーションを起動したら、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダがボックス名称を編集するフォルダであることを確認する

※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

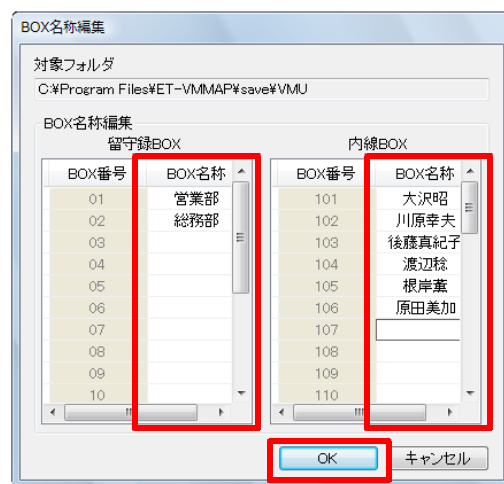


2 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「ボックス名称を編集する...」をクリックする



3 「BOX名称編集」画面が表示されるので、変更するBOX番号の「BOX名称」欄にチェックし、BOX名称を直接変更したら、**OK** ボタンをクリックする

※複数のBOX名称を変更することもできます。  
※BOX名称は全角5文字以内／半角10文字以内で入力してください。  
※ボックスフォルダ名称(移動・コピー専用で作成するボックスフォルダ)はパソコン内に作成するフォルダの名称に該当するため、重複登録はできませんが、BOX名称は重複登録も可能です。  
※BOX名称編集を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4 「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

5 「変更完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※録音情報一覧に「BOX名称」を表示している場合は、登録したBOX名称が表示されます。「BOX名称」の表示は「録音情報表示設定」画面による設定が必要です。⇒3-1章 参照

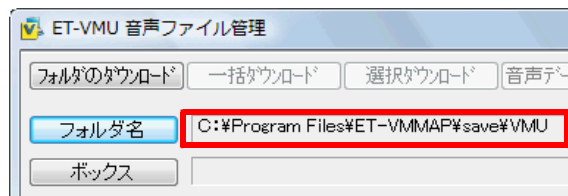
### 3. その他の操作

#### 3-7 外部メディアに音声ファイルを保存する

パソコンに保存されている録音情報や音声ファイルは、フォルダー一括単位でCD-RやDVD-R等の外部メディアに保存することができます。また、外部メディアに保存したデータは、保存時のフォルダ単位でパソコンに戻すことにより、本アプリケーションで録音情報の表示や音声メッセージの再生等を行うことができます。

##### 1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダ名を確認する

※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照



##### 2 上記で確認したフォルダ単位でCD-RやDVD-R等の外部メディアに保存する

※本アプリケーションは外部メディアへの保存機能はサポートしていません。パソコンにインストールされているアプリケーションや市販のアプリケーションを利用してください。

#### ご注意

- **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダ名の下にあるフォルダのみ、またはファイルのみを保存すると、本アプリケーションにデータを戻したときにデータを利用できなくなる恐れがあります。必ず表示されているフォルダ名単位で保存してください。
- 本アプリケーションは、外部メディア上のデータを直接使用できないため、保存したメディアからパソコンに戻す場合には、パソコンに保存した同じ場所に保存時のフォルダ単位でコピーをしてください。

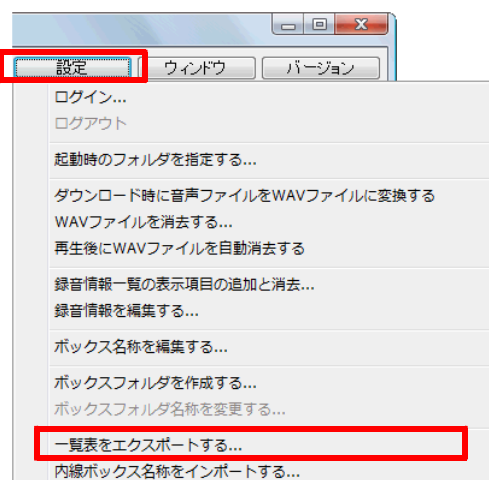
### 3. その他の操作

#### 3-8 録音情報の一覧表をCSV形式でエクスポートする

パソコンに保存されている録音情報をEXCEL等で利用できるCSV形式のファイルとして出力することができます。

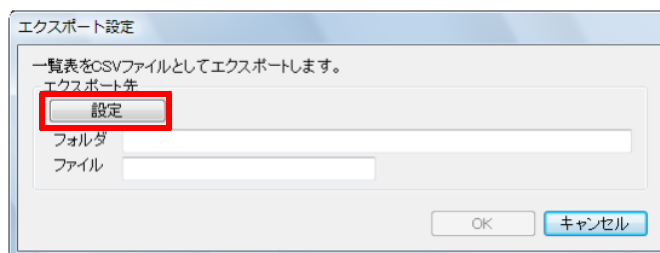
- 1 エクスポートしたい録音情報一覧を開いたら、メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「一覧表をエクスポートする...」をクリックする

※複数の録音情報一覧を開いている場合は、エクスポートしたい一覧をアクティブにしてください。



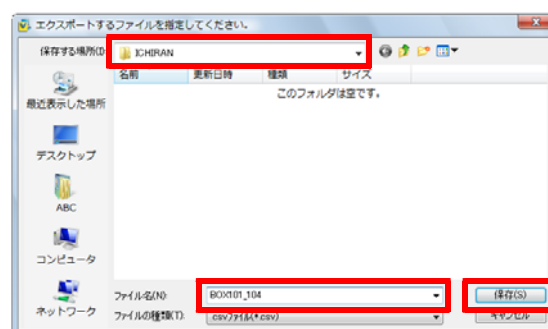
- 2 「エクスポート設定」画面が表示されるので、**設定** ボタンをクリックする

※エクスポートしたことがあると、「フォルダ」欄と「ファイル」欄には前回のエクスポート先が表示されます。本欄に直接入力してもエクスポート先を設定することができます。



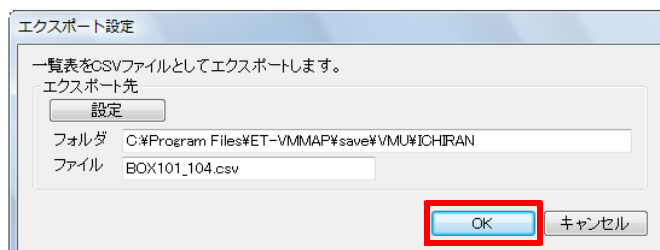
- 3 「エクスポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、保存場所およびファイル名を決定して **保存(S)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「エクスポート設定」画面にエクスポート先が入力されるので、**OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。










- 5 「エクスポート完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしメイン画面に戻る

### 3. その他の操作

#### 3-8 録音情報の一覧表をCSV形式でエクスポートする

##### 補足説明

- CSVファイルの1行目には、録音情報一覧の各項目名が一覧で表示されている順に出力されます。
- 録音情報一覧の情報で、文字以外のものは下記の文字に置き換えて出力されます。

録音情報一覧		CSV出力時の表示
フラグ	あり	フラグ
	なし	(空欄)
取込	 + 	情報+音声(再生済)
	 + 	情報+音声(未再生)
		情報のみ
	 + 	VMUデータ消去済

- エクスポートするとき、ファイル名が同じ場合は、上書きを確認する画面が表示されます。  
 ボタンをクリックすると上書きします。 ボタンをクリックするとエクスポート先を指定する画面に戻りますので、エクスポート先(フォルダ/ファイル名)を変更してください。

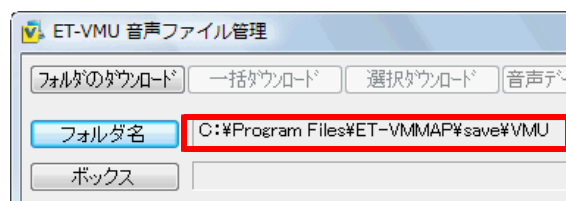
### 3. その他の操作

#### 3-9 主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる

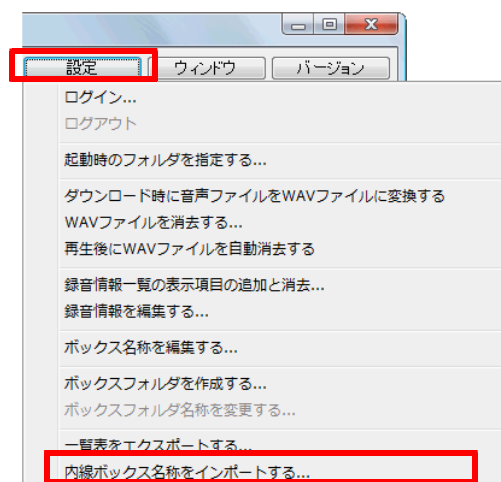
内線ボックスごとにボックス名(内線名称等)を登録できますが、「短縮設定用プログラム (IE/「」)」を使ってCSVファイルで保存した内線電話帳データをインポートすると、ボックス名に内線電話帳に登録されている内線名称がそのまま登録できます。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダ名を確認し、内線電話帳をインポートしてよいフォルダか確認する

※フォルダを変更する場合は、**フォルダ名** ボタンをクリックしてください。⇒2-2章[4] 参照

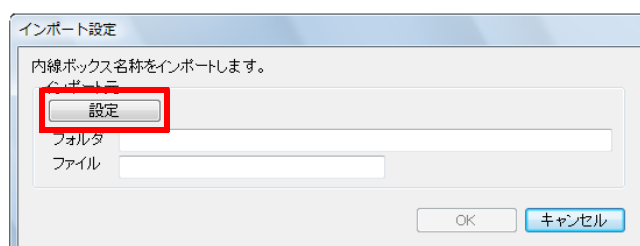


- 2 メイン画面の **設定** ボタンをクリックし、「内線ボックス名称をインポートする...」をクリックする



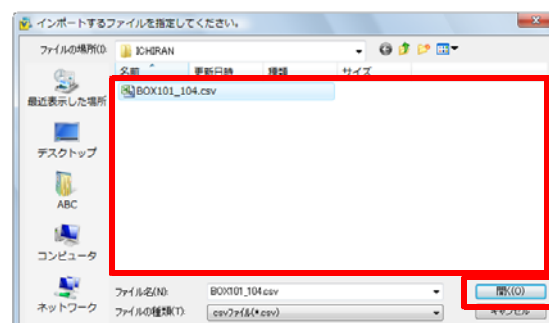
- 3 「インポート設定」画面が表示されるので、**設定** ボタンをクリックする

※インポートしたことがあると、「フォルダ」欄と「ファイル」欄には前回のインポート元が表示されます。本欄に直接入力してもインポート元を設定することができます。



- 4 「インポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、ファイルを選択して **開く** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

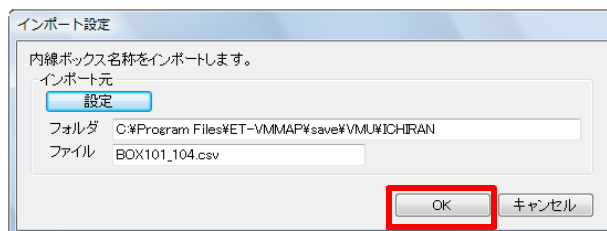


### 3. その他の操作

#### 3-9 主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる

#### 5 「インポート設定」画面にインポート先が入力されるので、**OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



#### 6 「インポート完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしメイン画面に戻る

#### 補足説明

- インポートした内線電話帳の内線番号と、本アプリケーションで管理している内線BOXのBOXが一致したもののみ、内線電話帳の内線名称がBOX名称として登録されます。
- 「短縮設定用プログラム (iE/「」)」は無償提供のパソコン用アプリケーションです。入手に関しては、販売店・工事店にお問い合わせください。

#### ご注意

- インポートする内線電話帳データは、「短縮設定用プログラム (iE/「」)」を使ってCSVファイルで保存した内線電話帳データをそのまま使用してください。EXCEL等を使って内線電話帳データを編集したファイルをインポートした場合、BOX名称が登録されなかったり、本プログラム使用中に本プログラムが終了することがあります。